



2021年6月17日

各位

会社名 ユニデンホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 西川 健之
(コード番号 6815 東証第1部)
問合せ先 人事・総務部 小尾 幹之
(TEL: 03-5543-2812)

「INVESTIGATION FINDINGS AND RECOMMENDATIONS」と題する報告書の
全文和訳の開示のお知らせ

当社は、2021年6月11日付「第三者委員会の調査報告書受領のお知らせ」及び2021年6月14日付「第三者委員会の調査報告書を受けた当社の対応について」にてお知らせいたしましたとおり、Baker Tilly Virchow Krause, LLP の Jonathan T. Marks 氏及び The Volkov Law Group LLC の Michael Volkov 氏が作成した2020年4月30日付の英文の報告書である「INVESTIGATION FINDINGS AND RECOMMENDATIONS」(以下「2020年英語版調査報告書」といいます。)の全文和訳を、本お知らせ添付のとおり、開示いたします。なお、本全文和訳においては、当社グループの取引先の名称及び役職員の氏名について非開示措置を施しております。

本全文和訳は、2020年英語版調査報告書を今般改めて和訳し直したものであり、当社が2020年6月3日付で公表した「第三者機関の調査報告書の公表に関するお知らせ」添付の「調査結果と改善提案」と題する書面(以下「2020年開示版調査報告書」)とは和訳表現が必ずしも一致しておりませんが、調査対象となった会計不祥事の内容や金額につきましては、2020年開示版調査報告書で開示したもとのから変更はありません。

当社グループは、2021年6月14日付「第三者委員会の調査報告書を受けた当社の対応について」にてお知らせしたとおり、再発防止に努めるとともに、当社グループの永続的な企業価値向上を目指す所存です。当社株主をはじめとするステークホルダーの皆様におかれましては、今後とも引き続き当社に対するご支援を頂けますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上

2020年4月30日

ユニデンホールディングス株式会社 御中

調査結果と改善提案

Baker Tilly Virchow Krause, LLP
Jonathan T. Marks

The Volkov Law Group LLC
Michael Volkov

1. ユニデン調査の背景

Baker Tilly と The Volkov Law Group への当初の依頼

2020年1月21日、Uniden America Corporation（以下「UAC」）は、UACの不正会計実務、特に収益の認識（以下「会計実務」）を巡る疑惑に関するフォレンジック調査の実施について Baker Tilly を起用した。8日後、ユニデンホールディングス株式会社（以下「UHC」）は、UACの会計実務の独立内部調査を指揮させるべく The Volkov Law Group（以下「Volkov」）を起用した。

Baker Tilly は調査の作業計画を提出し、UAC と BDO USA は 2020 年 1 月 23 日に同計画を承認した。同計画の写し 1 部は別紙に含まれている。Volkov はその後、この作業計画をレビューして承認した。

当初の作業計画は、2018年3月31日から2019年12月31日までの期間の各四半期の最終5日間に焦点を当てた。この予備調査の結果に基づき、Volkov と Baker Tilly は、期間を2017年7月1日から2019年12月31日まで（以下「UAC 該当期間」）に修正した。UHC と UAC は、UHC が第 3 四半期財務報告書を期限までに日本の金融規制当局に提出するために、内部調査を2020年2月29日までに完了するよう求めた。

Baker Tilly と The Volkov Law Group への拡大した依頼の範囲

Baker Tilly と Volkov は、当初の調査において、UAC において不正会計が蔓延していたこと、そして不正行為に関与した UAC の経営幹部 1 名が後に UHC に昇進して他の子会社を含むより幅広い責任を与えられていたことの証拠を発見した。そこで、Baker Tilly と Volkov は、日本とオーストラリアの現地業務が UAC において特定された不正会計と同様の不正会計の被害を被ったか否かを判断するために、ユニデンのオーストラリア（以下「Uniden Australia」又は「UAU」）及びユニデンジャパンの会計実務を対象とする検査を推奨した。

Baker Tilly の検査手順は2019年度中の選択した財務取引に焦点を当てた。

Baker Tilly によるユニデンジャパンに関する予備的調査により不正会計の証拠は判明しなかった。

Baker Tilly によるオーストラリアに関する予備的調査により、3件の顧客が関与する7件の取引、合計約130万豪ドル（～\$940,000米ドル）が明らかになった。

当初の検討の結果、Baker Tilly は、UAU の業務運営に係る主要幹部 3 名の E メール の収集及びレビューを要請した。とりわけ、UAU は当初、我々による E メール収集の取り組みを9日間にわたり妨害した。最終的に対象 E メール・データを収集しレビューした後、調査チームは、UAU が販売目標と目標収益を達成するため「架空の請求書」と「粉飾決算」（実際の従業員の E メールからの引用）を利用した詐欺スキーム

ムに従事していた証拠を明らかにした。

Baker Tilly は、大卒のレビューに基づき、UAU が収益を水増しして目標収益を達成するために多種多様の詐欺的スキームに従事していた証拠を明らかにした。

Baker Tilly と Volkov は、UAU の幹部が調査に全面的に協力することを前提とした、UAU の全面的なレビューのための作業計画の提案書を提示した。

Baker Tilly と Volkov の提案に従い、UAU の経営幹部は、2018 年 4 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日までの期間（以下「UAU 該当期間」）の詐欺的取引の特定に協力することに自主的に合意した。BDO International Limited のメンバーファームである三優監査法人（以下「BDO 三優」）は、UAU 該当期間について同意した。

UAU の幹部が全面的かつ迅速な協力を約束したに基づき、Baker Tilly と Volkov は、UAU の活動を調査し、UHC、UAU、UAC を網羅する報告書を、UHC の第 3 四半期財務報告書の日本国規制当局及び東京証券取引所への最終提出期日である 2020 年 4 月 15 日までに作成することに合意した。

UHC、Baker Tilly、Volkov、BDO 三優及び BDO USA の間で協議した後、BDO 三優は、2020 年 4 月 15 日までに適時の報告書と修正された財務上の入力完了されるのであれば、必要な財務上の届出書を準備することに合意した。UHC はその後、当該期日について 2020 年 5 月 14 日までの延長を申請し、付与された。

BDO USA の条件

BDO USA は、2020 年 1 月 27 日付の UHC の会長その他に宛てたレターにおいて、まずは以下の 7 点の特定の条件が満たされない限り、BDO USA は UHC の第 3 四半期財務報告書を適時に作成することができないと述べた。

1. 調査を監督する独立した弁護士が起用されること
2. フォレンジック会計士によって実施される調査が完了し、外部弁護士によって必要とみなされる追加の手順が実施済みとなること
3. BDO が状況に応じて適切とみなすシャドーイングとテストの全手順を実施したこと
4. UHC の財務報告書において、潜在的に可能な財務調整項目がすべて特定され、記録され、訂正されたこと
5. 財務報告に対する内部統制への影響が経営陣により適切に評価され、是正計画が作成されたこと
6. これらの事項について責任を負う人物と特定された個人に関する措置を含め、これらの調査結果を踏まえた経営陣による是正措置の計画が策定、レビューされ、実施が開始されたこと
7. 全ての事項が UHC の経営陣と監査委員会に提示され、評価されたこと

BDO はさらに、調査の完了後、調査結果次第では、UAC の第 3 四半期財務報告書の作成を担当する BDO 三優に対して報告書を発行する前に、BDO は内部調査のレビューに少なくとも 30~60 日間又はそれ以上を必要とすると述べた。

その後の 2020 年 1 月 30 日付の UHC の会長その他宛てのレターにおいて BDO は、BDO がその監査手続を開始できる前に、UHC が前述した 7 点の条件のすべてを確実に完了させなければならないと繰り返した。BDO はさらに、当該レビューに要する 30~60 日間という当初の見積りは「UHC の米国外の業務に関連して実施されるフォレンジック作業」及び「BDO 三優がそのレビューを完了させるために必要な期間」により、延長される可能性があるとも明記した。

2. 主要な調査及び検査の手順

Uniden America の調査及び検査の手順

A. ドキュメント・レビュー

Baker Tilly は、別紙記載の UAC の主要な文書のカストディアン (custodians) 16 名に関する E メール、文書、及びデータを収集し、スクリーニングした。フォレンジック・テクノロジーと 120 以上の本件に合わせたキーワード (UAC と BDO USA と合意したもの) を用いて、合計約 200 万もの多数の文書を約 230,000 の対象文書に絞り込んだ後、それらについて疑わしい販売取引やコミュニケーションを含む関連性を調査した。

B. 財務分析/データアナリティクス

Baker Tilly は、該当期間について、領収書を通じた販売受注のハードコピー文書、準備、出荷、納品、請求及び記帳について、手作業でレビューした。Baker Tilly はさらに、UAC 該当期間中の異常を検知するために、そのフォレンジック・テクノロジストを活用して全販売受注データ (約 42,000 項目、合計額 1 億 6,400 万ドル以上) の記録のデータアナリティクスを実施した。詳細については別紙を参照のこと。

C. 対面インタビュー

Baker Tilly と Volkov は、別紙記載の UAC の個人 13 名に対してインタビューを実施した。

Uniden Australia の調査及び検査の手順

A. 予備的レビュー

Baker Tilly のオーストラリア及び米国チーム（以下「Baker Tilly」と総称する）は当初、2019年3月から2020年1月までの期間について選択したUAUの販売データとクレジットデータ、並びに裏付文書を分析した。さらに、Baker Tilly Australiaは、販売実務を理解して潜在的な収益認識問題を探し出すために、主要なプロセスの担当者と協議し、選択した顧客契約をレビューし、売掛金の経過記録を分析し、第三者の倉庫施設を訪問するなどした。

B. ドキュメント・レビュー

予備的調査結果の結果、Baker TillyとVolkovは、別紙記載のUAUの文書のカスタodian 5名のEメール、文書、データをスクリーニングした。我々のレビューは、UAUの幹部及びスタッフの全面的協力に基づき、促進され、集中的に行われた。UACからの電子データ及びEメールと同様に、我々はフォレンジック・テクノロジーとターゲットを絞ったキーワード検索を用いて、収集した合計約1,000,000もの多数の文書の中からスクリーニングして関連文書を特定した。

調査チームに協力するよう指示されていたにもかかわらず、UAUは当初、調査チームのEメールの収集を9日間以上にわたり遅延させ、妨害した。UAUの経営陣は最終的に、該当期間に関する著しく不適切で虚偽の販売取引とそれに対応するクレジットについて詳細に記載した別個のスプレッドシートを、調査チームに開示した。UAUはさらに、特定期間における報告された利益を引き上げるために記帳されなかった（不正記録された）マーケティング及び販促費用のためのAPV資金を詳細に記載した別のスプレッドシートも開示した。UAUは、多種多様の虚偽取引をサポートするために利用したその他の不正加工した虚偽の文書を提供した。

C. 財務分析

予備的調査の結果、Baker Tillyは、手順を拡大し、UAU該当期間の選択したUAUの販売データとクレジットを分析した。Baker Tillyは、これらの取引を分析し、その他の財務分析手法を用いて、選択したUAUの財務情報中の想定外の関係を検証し又は特定しようとした。Baker Tillyの分析及び手順には、以下が含まれ、それらに限定されない。

1. UAUにより提出された販売データを、その試算表及びUHCに報告された財務諸表と照合する

2. 売掛金データと経過ファイル进行分析する
3. 販売及びクレジットデータを分析する
4. マネージングディレクターとファイナンシャル・コントローラーに対し、特定の販売とそれに対応するクレジットに関する説明を要請する
5. 選択した取引の裏付文書をレビューする
6. 第三者のデータ（例えば、To11 IPEC や ILS など）を分析し、販売取引と比較する
7. Eメールをレビューし、期末に不正記録された販売取引の更なる実例を特定する
8. 四半期の目標とコミッションのデータを分析する
9. 選択した取引について UAU から提供された売上原価と粗利益に関する情報を分析する

さらに、我々はドキュメント・レビューから特定された選択した文書及び E メール通信を、これらの販売及びクレジット取引並びに顧客と比較し、追跡した。我々のレビューは、UAU の幹部及びスタッフから提供された詐欺スキーム、関連顧客、UAU の財務実績を水増しするための実務を特定した UAU の経営幹部及びスタッフから提供された問題点及び情報に合わせたものであった。

D. 対面インタビュー

Baker Tilly と Volkov は、別紙記載の UAU の個人 5 名のインタビューを実施した。

ユニデンジャパンの調査及び検査の手順

A. レビュー

ベーカーティリージャパン税理士法人は、2019 年 3 月から 2020 年 1 月までの期間について選択したユニデンジャパンの販売及びクレジットデータをそれぞれ分析した。ベーカーティリージャパン税理士法人は次に、2019 会計年度末（例えば、2019 年 3 月末）と 2020 会計年度中の四半期末（例えば、2019 年 4 月から 2020 年 1 月まで）に近い時期に発生した、選択した販売注文とクレジットの裏付文書を要請し、それをレビューした。

上記の検査手順に基づき、ベーカーティリージャパン税理士法人は、不適切な販売及び会計実務の証拠を何も検知せず、したがって更なる調査手続は必要でないと結論付けた。

3. 調査結果

ユニデンホールディングス株式会社の調査結果

1. Baker Tilly と Volkov は、UHC、UAC、UAU において少なくとも 2017 年以降に、UHC の財務報告書の重大な虚偽記載をもたらした重大な財務会計の不正行為を検知した。
2. UHC から販売目標を達成するよう絶え間なく極端な圧力を受ける中、UAC と UAU は、それぞれ月次、四半期、年間の販売目標を達成したように見せかけるための虚偽で変則的な財務会計実務に従事した。これら虚偽の水増しされた財務諸表は、次に UHC の公式の財務報告書に組み込まれた。
3. 実質的な (substantial) 証拠によれば、会長と上級経営幹部を含む UHC の幹部が、侮辱的で、辛辣で、脅迫的な言葉を通じて非現実的な販売目標に基づき、強引な販売目標を強制する有害な (toxic) 企業文化を創り上げたことが、示唆されている。
4. UHC による UAC 及び UAU の運営の適切な管理と監督の欠如は、UHC の販売目標達成への固執と相俟って、UAC と UAU において有害な (toxic) 管理環境を生み出し、現地従業員は、非現実的な販売目標を達成するため、売上の操作やその他の不実行為に頼った。多数の従業員が関与し、懸念を表明することを恐れた。
5. これらの会計上の不正行為における UHC の役割と責任は次の基本的事実によって確認される—UAC と UAU は、それぞれ、非現実的な月次、四半期、年次の販売目標を達成するための蔓延した組織的な会計詐欺に、独自に従事した。
6. UHC、UAC、UAU ではそれぞれ、基本的なガバナンスと監督、財務統制、並びに、倫理及びコンプライアンスの機能が欠如している。
7. UHC は、故意又は意図的な無関心により、財務上の虚偽記載を防ぐための、財務報告に対する適切な監督や適切な内部統制の維持を怠った。
8. UAC 及び UAU の経営陣を非難することは容易であるが、そのような狭い視野は、ユニデンの根本的な問題—ネガティブな企業文化と、UAC 及び UAU に課された非現実的な販売目標がある中で、UHC の管理及び監督に欠陥があり最終的に現地の不正行為について責任があること—に目を背けるものである。
9. UHC による UAC 及び UAU の不適切な管理と監督は、組織全体にわたる直接的かつ大々的な是正措置を必要とする。
10. 今や、UHC の存続は、自社の企業文化、リスク管理、財務報告統制、並びに倫理及びコンプライアンス・プログラムを改革し是正する UHC の能力にかかっている。これら是正のための任務が迅速に遂行されることを確実なものとするため、特定の監視プログラム、UHC 取締役会への強力な報告、同取締役会による強力な監督が推奨される。

Uniden America Corporation と Uniden Australia に共通の調査結果

1. UHC は、UAC と UAU の経営陣に対し、厳しく非現実的な月次、四半期、年次の販売目標を課した。UHC は、懲罰及び／又は解雇により脅すことでこの販売目標を強制し、UAC 及び UAU の経営陣と営業スタッフを厳しい個人的な批判にさらした。
2. UHC、UAC、UAU の欠陥ある内部財務統制は、組織全体にわたる有意義な倫理及びコンプライアンス・プログラム機能の欠如によって悪化した。
3. UHC が月次の販売目標を達成することのみに集中する中で、また UHC の企業文化及び発したメッセージの当然で起こりうる成り行きとして、UAC 及び UAU の経営陣とスタッフはかかる目標達成のために不正かつ違法な会計実務を採用した。
4. UAC 及び UAU は、それぞれの該当期間中、UHC の非現実的で強引な (unrealistic and aggressive) 販売目標を達成するために、詐欺的又は時期を早めて収益を増加させる複数のスキームを実行した。これらのスキームを実行するため、UAC 及び UAU の上級管理職と従業員はそれぞれの組織内で不正行為を隠蔽することを共謀した。

Uniden America Corporation の調査結果

1. UAC の経営陣並びにスタッフは、実際の販売収益を正確に記録すると期待された販売目標が未達であったにもかかわらず、月次、四半期、年次の販売目標の達成を確保するため、以下のスキームに従事した。
 - a) 契約上「元払い」であったにもかかわらず、「着払い」の条件で商品を発送し、送料を顧客に直接払い又は払戻すことにより、売上を配達日ではなく発送日で計上するという商品販売の不適切かつ不正確な記録を行い、収益を早期に認識した（表 5 の「スキーム A / スキーム B」を参照）。
 - b) 顧客との間の非公式の「サイドアグリーメント」により、支払期間を延長して売上を記録し、顧客のアカウントを最新の状態に見せかけて追加の売上の計上を可能にするために「支払期限の見直し」をした売掛金。このスキームは、スキーム A と組み合わせて利用された。この個別のスキームを考慮するために必要な財務上の影響又は調整エントリは一切ない（表 5 の「スキーム A / スキーム B」を参照）。
 - c) 製品を第三者の倉庫に数日間出荷した後、顧客が集荷するために製品を UAC に返却することにより、製品の売上の不適切かつ不正確に記録し、収益を早期に認識した（表 5 の「スキーム C」を参照）。
 - d) 顧客が製品を販売（すなわち委託販売）するまで支払期限は到来しないとい

う UAC と顧客の間の非公式な理解に基づき、特定の顧客への製品販売について不適切な記録を行い、収益を不適切に認識した（表 5 の「スキーム D」を参照のこと）。

- e) 輸送中の製品を在庫として UAC の帳簿及び記録に記帳し、次に架空在庫の製品販売を記録し、収益を早期に認識した（表 5 の「スキーム E」を参照のこと）。
 - f) 実際には出荷されなかった注文について請求し、製品の販売を不適切に記録することにより、収益を早期に認識した（表 5 の「スキーム F」を参照）。
2. Baker Tilly と Volkov は、UAC の帳簿及び記録には該当期間（2017 年 7 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日まで）中、虚偽の記載が含まれていると判断した。Baker Tilly は、総売上について合計 **1,577 万米ドル**の虚偽記載がなされていることを特定した。
 3. UAC の不適切な会計スキームは蔓延しており、組織的で（systemic）、UAC の財務報告の正確性を損なった。
 4. これらの会計スキームには複数の経営陣と従業員が関与したが、すべての経営陣と従業員が同じ程度の知識と理解をもって作為又は不作為をしたわけではなかった。UAC の従業員は、知りながら意図的に違反した者から、意図的に無関心であった者、又は、不正会計実務に対して合理的な疑いを有していた者まで、異なるレベルの知識を有していた。
 5. 該当期間中の UAC のプレジデントであった [REDACTED] と [REDACTED] は、このスキームの不適切な性質について十分に理解し、意図的に行動した。[REDACTED] と [REDACTED] 【訳注：どちらも UAC のプレジデント】は、毎月の目標を達成するため、組織的に不適切な配送及び売上計上を実施するよう、従業員に指示し、命令した。彼らの意図的かつ故意に基づく行為は、UHC が UAC の運営に対して適切な監督を行わず、必要な統制を効かせていなかったという状況を利用して利用していた。

Uniden Australia の調査結果

1. UAU の経営陣及びスタッフは、実際の販売収益を正確に記録すると販売目標が未達であったにもかかわらず、月次、四半期、年次の販売目標を「達成」するためのスキームに従事した。
 - a) UAU は、「公式」の会計帳簿及び記録とは別に、2 つの別個のスプレッドシートを維持していた。すなわち 1 つ目は、虚偽の販売を追跡して実際の在庫残高を管理するために利用され、2 つ目は、記録されていない APV マーケティング及び販促費用を追跡するために利用された。
 - b) UAU は、顧客から発注書を受けたこともなく製品を出荷したこともない販売に関して収益を増加させるため、期末に虚偽の請求を記録した。これらの請

求書は最終的に、翌四半期に UAU によって貸方計上された。

- c) UAU は、代金の受領を伴わずに代理店／顧客に発送した商品について不適切で虚偽の販売請求書を作成した。その代わりに、UAU は、商品が販売（すなわち、委託販売）された後に代理店／顧客が当該商品について支払を行うことについて合意した。多くの場合、大量の製品が他の顧客へ再販売するために UAU に返品された。
 - d) UAU は、顧客に対し、特定のプロモーション及びマーケティング割引やリベートを UAU の APV 資金から提供した。UAU は、この APV ファンドについて帳簿及び記録に記帳することを怠り、したがって純利益を過剰に計上した。
 - e) UAU は、月次、四半期、年次のレポート期間が終了する前に、将来の納品に関する販売請求書を本来よりも早く発行した。UAU はその後、顧客の本社のアカウントにクレジットを付与し、個別の店舗に出荷し、売上を計上し、早期に収益を計上した。
 - f) UAU は、月次、四半期、年次のレポート期間が終了する前に、UAU が該当期間の終了前にこれらの注文が納品されないことを知りつつ製品を出荷して、当該レポート期間が終了する前の不適切な販売に係る請求を計上した。UAU は、自社のカットオフ・テストの一環としてこれらの取引を取り消すべきであったが、取り消さないことを選択したため、収益が早期に認識された。
 - g) 返品に対する不適切なクレジットについて、受け取った期間にすべてのクレジットの金額を記録せず、複数の期間にわけて記録していた。
2. Baker Tilly と Volkov は、UAU 該当期間（2018 年 4 月 1 日～2019 年 12 月 31 日）に関する UAU の帳簿及び記録に虚偽の記載が含まれていると判断した。Baker Tilly は、合計 2,780 万豪ドルの誤った総売上高を特定したが、そのうち約 1,060 万豪ドルについては、裏付けとなる発注書が存在せず、出荷されたこともなかった。端的に言えば、それらはすなわち「虚偽」の販売であった。
 3. UAC での調査結果と同様に、UAU の不適切な会計スキームは蔓延し、組織的で、UAU の財務報告の正確性を損うものであった。
 4. UAU の上級管理職、公認会計士、取締役（CEO 及び ██████████【訳注：UAC のプレジデント】）は、故意かつ意図的に違法なスキーム及び詐欺的な報告実務に関与していた。
 5. UAU の従業員は、E メールアカウントへのアクセスを求めた当初の要請に対して 1 週間以上にわたり抵抗し、インタビューの間嘘をつき、特定の取引をサポートする試みで文書を改ざんし、我々の調査を故意に妨害した。さらに、特定のインタビュー対象者は全面的には協力せず、あるいは、虚偽又は不適切な販売を記録するために実施したプロセスを開示しなかった。
 6. UAU は、発注書の存在しない注文を故意に計上した。
 7. UAU は、主要な顧客の場所に間に合うように処理できないことがわかっていた注

文の売上げを計上した。注文が完了し、注文を完全に処理できるようになるまでの時間が経過した後で、UAUは、この取引（transaction）をクレジットし、本社のアカウント／住所ではなく正しい顧客の特定の場所への販売と配送を計上した。

8. UAUは、配送完了の実際の証拠データを、監査人から隠蔽した。
9. UAUの幹部に加え、他に多数のUAU従業員が帳簿及び記録を改ざんするスキームに関与し、そのことを知っていた。

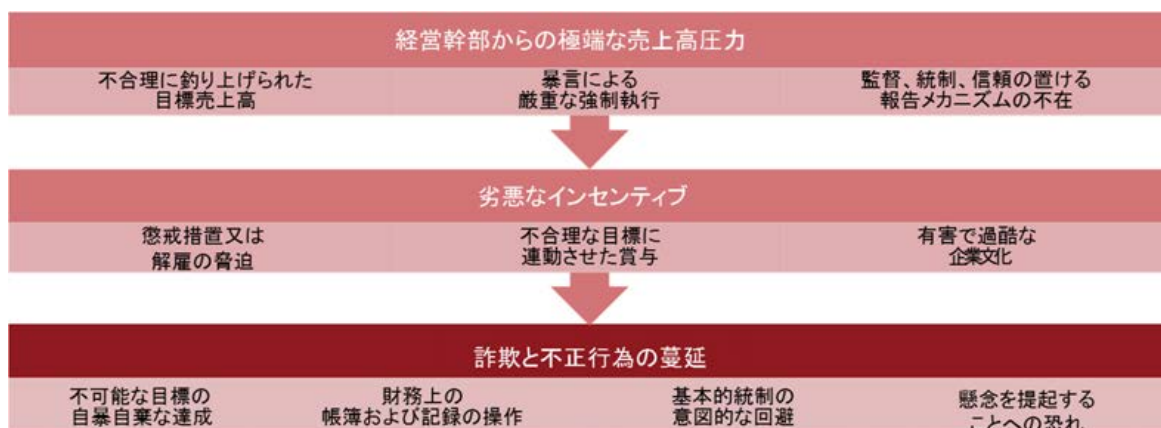
4. 根本原因の分析

トップからのネガティブな発言が不祥事を招いた

UHCの上級経営陣は、不合理に釣り上げた目標売上高を設定し、多大な圧力を生み出した有害な（toxic）企業文化によって当該目標を積極的に強制した（aggressively enforced）。

この上級経営陣からの極端な圧力は、当然にして可能性の高い結果として、インセンティブの低下を生み出し、それが従業員のネガティブな行動を牽引した。

したがって、このような極端で有害な企業文化が、必然的に、圧力にさらされた者の、同様に有害で蔓延的な不正行為と不正行為の正当化を招いた。



ケーススタディ：Wells Fargo のスキャンダル

Wells Fargo の幹部は以下を行った。

- ・ 不合理な販売目標の設定
- ・ 当該目標の厳重な実施
 - ・ 実績を上げない者に対する軽蔑や脅迫
 - ・ 目標未達及び／又は苦情を申し立てた従業員を 5,000 名超解雇



この有害な販売圧力が以下につながった。

- ・ 大量の虚偽の口座と詐欺
- ・ 蔓延した組織的な問題の無視
- ・ ゲートキーパーの関与又は無視



- ・ DOJ（米司法省）の調査の後、Wells Fargo は、「非現実的な販売目標を達成するよう従業員に圧力をかけたこと……に基づく潜在的な刑事上及び民事上の法的責任」を解決した。
- ・ 「厄介な販売目標とそれに伴う経営陣からの圧力は……同社従業員の詐欺を含む不法行為への従事……及び非倫理的な商品販売慣行につながった……」
- ・ 「幹部は、当該慣行の実例を防止し削減するために十分な措置を講じることを怠り……この問題を営業モデル自体ではなく個人の不正行為によって引き起こされたものとして扱うことにより、……問題を小さくしようとした。」

-DOJ のプレスリリース

Wells Fargo とユニデンの比較

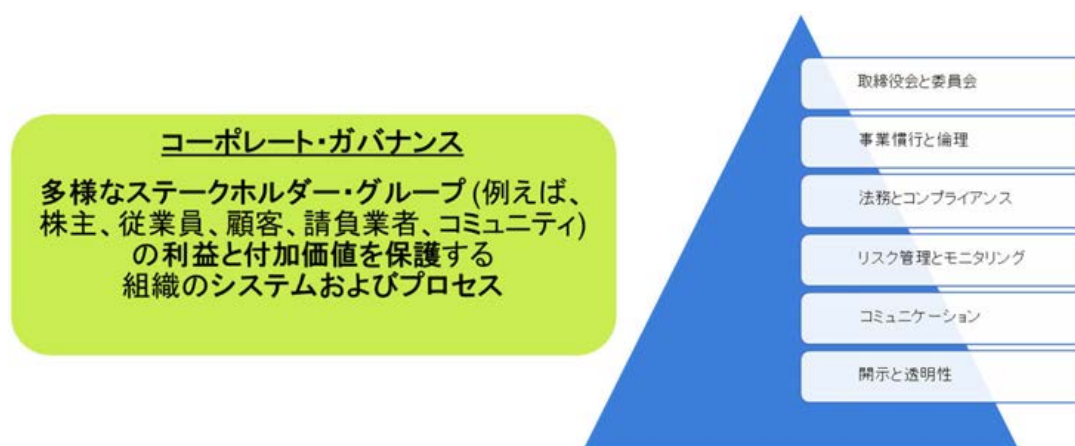
WELLS FARGOのスキandal (30億米ドルの罰金)	ユニデンの不正行為
両社の上級経営陣は、目標売上高の達成に極端な圧力をかけ、高まる一方の要求を満たすために非合法的かつ非倫理的な行為に従事するよう、従業員を黙示的に指揮および/または奨励した	
<ul style="list-style-type: none"> 取締役会による監督と監視の不在 上級経営陣による不合理な目標売上高の奨励、引き起こし、強要 厳重な強制執行 販売圧力 詐欺と不正行為の蔓延 内部統制およびコンプライアンス・システムの無視または回避 特定の非倫理的慣行を「ゲーミング」と言及 	<ul style="list-style-type: none"> 取締役会による監督と監視の不明さ 上級経営陣による不合理な目標売上高の奨励、引き起こし、強要 厳重な強制執行 販売圧力と卑劣な脅迫 詐欺と不正行為の蔓延 内部統制およびコンプライアンス・プログラムの不在 UACの特定の非倫理的慣行を「日本の会計処理」と言及

5. 是正策

是正にはコーポレート・ガバナンスの改善が必要

上級幹部が主導した有害な企業文化は、深く根付き蔓延する問題を引き起こす。かかる固有の不正行為の是正には、それと同様に強力かつ持続的な是正努力が必要である。

コーポレート・ガバナンスの改善を重視することが必要不可欠である。



推奨される是正策

1. 該当期間中に提出された UHC、UAC、UAU の財務報告のすべてについて、虚偽記載、エラー、若しくは遺漏を修正する。
2. 調査結果及び是正案を検討するために、UHC の取締役会と（COVID-19 の状況下、安全となり次第）直接会って会議及び協議を行う。
3. Baker Tilly と Volkov の助力により、UHC 取締役会のガバナンス機能を、監督、コミュニケーション、法務、倫理及びコンプライアンス、財務報告の各手続に重点を置きながら、検討し、強化する。このプロセスの一環として、Baker Tilly と Volkov は、UHC の取締役会、幹部、関連する内部手続及び内部統制について、現地においてガバナンスのレビューを実施すべきである。
4. Baker Tilly と Volkov の助力により、UHC は、現実的な販売目標を確立し、組織内での適切な会計処理を確保すべく、自社の売上高予測慣行を修正すべきである。かかる見直しは、少なくとも予測に関するプロセスが、過去の不合理な予測の究極的な責任者である UHC の会長及びその他の上級幹部の参加なしに実施されることが要求される。
5. UHC の改定された全世界及び現地の財務会計統制をレビュー、強化、実施することにより、特定の不正行為に対処し、そのような統制が財務上の詐欺及び虚偽記載の防止と検知に効果を有することを確保する。
6. UHC、UAC、UAU は、それぞれ、最低限、各拠点における財務と報告の制度を管理するため、専門資格を有する最高財務責任者を雇用する必要がある。このような専門家は、任務を遂行するうえでの適切な経験とスキルを備えている必要がある。
7. 不正行為に参加した UHC、UAU、UAC のマネージャー及びスタッフに対する適切な懲戒を、各人の役職、監督上の責任、勤続年数、有責性、不正行為に関する知識に応じて、検討すべきである。かかる懲戒処分は、解雇から社員の人事ファイルに記録される書面での警告までの範囲にわたるべきで、将来のすべての賞、賞与、又は昇進の適格性を決定する際に考慮されるべきである。
 - a) 当初の不正行為に従事しただけでなく、後に本調査における問題取引を隠蔽するために嘘をつき文書を改ざんした UAU の従業員に関しては、会社が（現地の雇用規制及び規則を確実に遵守するため人事又は労働法弁護士に相談したうえで）彼らを解雇することを推奨する。ユニデンの是正策とコンプライアンスへのコミットメントを示し、将来の潜在的な不正行為に対する効果的な抑止力として機能するよう、このような厳しい懲戒が必要である。ユニデンはさらに、詐欺の訴追を求めて本件について現地当局に知らせることを検討されたい。
8. 新しい倫理及びコンプライアンス・プログラムを作り上げるためにユニデンのグ

- ローバル組織の包括的なリスク評価を実施し、当該プログラムを継続的に改善するため、当該リスク評価を毎年更新する。
9. UHC の上級幹部のオフィスに、グローバル・コンプライアンス機能を新設する。適切な独立性、権限、及びリソース（人員、予算、及びテクノロジー）を伴う最高コンプライアンス・オフィサー（「CCO」）を任命する。
 - a) 新 CCO は、四半期毎に UHC 取締役会に直接報告し、倫理及びコンプライアンス・プログラムの実績に関する関連情報を提供する。
 - b) UHC 取締役会は、関連問題について定期的に CCO と相談し、CCO が有効なコンプライアンス・プログラムの実施にあたり適切な独立性、権限、視線、リソースを備えるよう徹底する。
 10. UAC 及び UAU において少なくとも 1 名の従業員に対して、グローバル CCO に対して機能するレポーティング・ライン及び説明義務を伴うコンプライアンスの責任を割り当てる（専属のコンプライアンス・オフィサーを雇用するか、現地の CFO にその任務を割り当てる）。
 11. 取締役、幹部、経営陣、及びスタッフを対象として、組織全体の倫理及びコンプライアンス研修プログラムを実施する。従業員の賞与、受賞、及び昇進は、一定程度、研修を成功裡に修了したか否かにより決めるべきである。
 12. 内部監査機能の有効性を改善する。内部監査は、コーポレート・ガバナンスと会計処理に一定の重点をおくことを含め、会社の内部統制を定期的に評価し検査するものでなければならない。
 13. ユニデンの新しい倫理及びコンプライアンス・プログラムには、少なくとも、以下の要素が含まなければならない。
 - a) 更新され拡大された事業倫理規定を含め、販売慣行及びその他関連性あるリスクを網羅した、関連する規定及び手続の実施
 - b) 客観的な内部調査システムと結びつけられた、匿名の報告ラインを含む、効果的な従業員報告プログラムの実施
 - c) UHC の組織全体の内部統制並びに倫理及びコンプライアンス・プログラムの有効性を定期的にレビューする監査及び監視プログラムの採用
 - d) 機密性の高い職能に就く従業員がコンプライアンス認証を毎年取得すること
 14. 少なくとも 3 年間にわたり、Baker Tilly と Volkov は、UHC、UAC、UAU の運営を監視、検査、監査、及びレビューして、少なくとも毎四半期 UHC の取締役会及び幹部に以下を報告する。
 - a) 是正プログラムの実施の進捗状況
 - b) UHC のガバナンス・プログラムの改善
 - c) UHC の販売予測及び販売目標プログラムの実績
 - d) UHC、UAC、及び UAU の内部統制及び財務報告の評価
 - e) UHC の倫理及びコンプライアンス・プログラムの評価

f) UHC、UAC、及びUAUの運営に関連するその他すべての関連問題

15. Baker Tilly によって作成される会計基準規則（「ASC」）第 606 号メモをレビューし、メモにて概説された調査結果と結論に従い、必要な手続、手順、及び統制を実施する。

調査結果と是正策の要約

問題	根本原因と寄与要因	是正
<p><u>Uniden Australia</u></p> <p>経営幹部及び従業員が重大な財務会計不正行為と詐欺を行い、そのことがUHCの財務報告書の虚偽記載をもたらした</p>	<p>根本原因:</p> <ul style="list-style-type: none"> 不正行為の正当化を招いた圧力、脅迫、威嚇の企業文化 <p>寄与要因:</p> <ul style="list-style-type: none"> 非現実的な販売目標 監督又は監視の欠如 内部統制の設計不良、脆弱性、欠如又は無効化 不十分な研修およびコミュニケーション 信頼の置ける倫理問題の報告チャネル又は調査の不在 	<ul style="list-style-type: none"> 財務報告書の訂正、不正行為に関与した従業員の解雇を含む懲戒を考慮 現実的な目標売上高を設定するために販売予測慣行を修正 経営幹部の研修を実施 トップの口調を改善 財務統制を強化 CFOを雇用及び権限の付与 取締役会への直接アクセスできるCCOの雇用及び権限の付与 リスク評価を実施し、コンプライアンスに関する方針および手続を策定及び実施
<p><u>Uniden America</u></p> <p>経営幹部及び従業員が重大な財務会計不正行為と詐欺を行い、そのことがUHCの財務報告書の虚偽記載をもたらした</p>		<ul style="list-style-type: none"> ポリシー及び手続の研修及びコミュニケーションを実施 機密性の高い職能に従事する従業員からコンプライアンス認証を取得 匿名報告ホットラインの設置、そのほか信頼できる報告チャネルを設定 報告に関する客観的な調査と是正を徹底 監査・監視プログラムを採用

寄与要因とは、可能性を高め、効果を時的に加速させ、結果等の重大性に影響すること等により、効果に影響する条件を意味する。

寄与要因を排除することは、効果を排除することにはならないが、リスクに対する

より良い洞察をもたらす。

6. 財務的影響

UAC の虚偽記載の要約 - 損益計算書上の影響

表 1: 該当期間の総売上高の虚偽記載 (四半期別)

アカウント41000 - F/G総売上高					(E) = 0 - A - B - C + 前四半期A
四半期終了	A 過剰表示	B 委託販売	C 委託販売 の支払額 (1)	D 委託販売 の返品	修正仕訳記入額
6/30/2017	803,361	311,358			(1,114,719)
9/30/2017	1,475,232				(671,871)
12/31/2017	1,524,709				(49,477)
3/31/2018	1,161,889				362,820
6/30/2018	1,401,620		(64,271)		(175,460)
9/30/2018	1,004,520				397,099
12/31/2018	1,283,745	365,821			(645,045)
3/31/2019	1,967,898	795,341			(1,479,494)
6/30/2019	1,037,521	1,960	(354,865)		1,283,282
9/30/2019	1,431,682		(155,575)		(238,586)
12/31/2019	392,036		(79,660)		1,119,306
合計:	13,484,214	1,474,480			

(1) 委託販売に関する支払額は、UACによって特定され、提示された。

13,484,214	スキーム A/B、C、E、F
809,593	UACによる特定、提示
14,293,808	
1,474,480	スキーム D (委託販売)
15,768,288	表 5 を参照のこと

表2: 該当期間の売上原価の虚偽記載 (四半期別)

アカウント51000 - F/G売上原価					(E)=0 - A - B - C + 前四半期A
四半期終了	A 過剰表示	B 委託販売	C 委託販売 の支払額(2)	D 委託販売 の返品	修正仕訳記入額
6/30/2017	505,842	141,769			(647,611)
9/30/2017	935,222				(429,380)
12/31/2017	1,030,316				(95,094)
3/31/2018	688,255				342,061
6/30/2018	774,534		(29,264)		(57,015)
9/30/2018	622,068				152,466
12/31/2018	749,733	166,750			(294,415)
3/31/2019	1,120,879	364,866			(736,011)
6/30/2019	590,951	944	(162,483)		691,466
9/30/2019	782,066		(71,233)		(119,881)
12/31/2019	240,549		(36,474)		577,991
合計:	8,040,415	674,328			

(2) 委託販売に関する支払額における受取原価の構成要素は、ブレンド・パーセンテージに基づく。
 例: \$29,264 = (\$64,271 / \$311,358) x \$141,769

8,040,415	スキームA,B,C,E,F
493,306	UACIによる特定、提示
8,533,721	
674,328	スキームD(委託販売)
9,208,050	表6を参照のこと

表 3: 該当期間の売掛金残高の虚偽記載 (四半期別)

アカウント12100 - 売掛金					(E) = 0 - A - B - C + 前四半期A
四半期終了	A 過剰表示	B 委託販売	C 委託販売 の支払額 (1)	D 委託販売 の返品	修正仕訳記入額
6/30/2017	803,361	311,358			(1,114,719)
9/30/2017	1,475,232			(30,230)	(641,642)
12/31/2017	1,524,709			(11,306)	(38,171)
3/31/2018	1,161,889			(36,947)	399,768
6/30/2018	1,401,620		(64,271)	(97,001)	(78,459)
9/30/2018	1,004,520			(8,479)	405,579
12/31/2018	1,283,745	365,821		(5,653)	(639,393)
3/31/2019	1,967,898	795,341		(57,471)	(1,422,023)
6/30/2019	1,037,521	1,960	(354,865)		1,283,282
9/30/2019	1,431,682		(155,575)		(238,586)
12/31/2019	392,036		(79,660)		1,119,306
合計:	13,484,214	1,474,480			

注記: 不正委託販売の返品を解消する訂正により、売掛金は増加し、在庫は減少し、売上戻り高は減少し (41100)、返品原価は減少する(51100)。総売上高と売上原価は影響を受けない。陳腐化による棚卸資産の評価損は考慮に入れていない。

13,484,214	スキーム A、B、C、E、F
809,593	UACによる特定、提示
14,293,808	
1,474,480	スキーム D (委託販)
15,768,288	表 6を参照のこと

表 4: 該当期間の完成品棚卸資産残高の虚偽記載 (四半期別)

アカウント14000 - 完成品在庫					
	A	B	C	D	(E) = 0 - A - B - C + 前四半期A
四半期終了	過少表示	委託販売	委託販売 の支払額(2)	委託販売 の返品	修正仕訳記入額
6/30/2017	(505,842)	(141,769)			647,611
9/30/2017	(935,222)			13,528	415,852
12/31/2017	(1,030,316)			5,634	89,459
3/31/2018	(688,255)			16,534	(358,595)
6/30/2018	(774,534)		29,264	46,138	10,876
9/30/2018	(622,068)			4,226	(156,692)
12/31/2018	(749,733)	(166,750)		2,817	291,598
3/31/2019	(1,120,879)	(364,866)		28,641	707,371
6/30/2019	(590,951)	(944)	162,483		(691,466)
9/30/2019	(782,066)		71,233		119,881
12/31/2019	(240,549)		36,474		(577,991)
合計:	(8,040,415)	(674,328)			

注記: 不正委託販売の返品を解消する訂正により、売掛金は増加し、在庫は減少し、売上戻り高は減少し(41100)、返品原価は減少する(51100)。総売上高と売上原価は影響を受けない。陳腐化による棚卸資産の評価損は考慮に入れていない。

8,040,415	スキーム A、B、C、E、F
493,306	UACによる特定、提示
8,533,721	
674,328	スキーム D (委託販)
9,208,050	表 6を参照のこと

表5及び表6: UACの調査結果の要約(四半期別)

総合して、該当期間中のUACの財務諸表に影響を及ぼす総売上高は1,577万ドル、同じく売上原価は921万ドルとなることが特定された。

売上高

分類	18年度				19年度				20年度				合計
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期 (1)	第4四半期	
スキームA/スキームB	744,656	1,475,232	1,524,709	1,108,171	1,072,633	797,507	1,283,745	1,622,106	1,007,948	1,270,552	317,199	-	12,224,459
スキームC	58,705	-	-	51,018	-	-	-	-	-	-	83,936	-	193,658
スキームE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	417,537	-	417,537
スキームF	-	-	-	2,700	328,987	207,014	-	345,792	29,573	161,131	382,958	-	1,458,154
	803,361	1,475,232	1,524,709	1,161,889	1,401,620	1,004,520	1,283,745	1,967,898	1,037,521	1,431,682	1,201,630	-	14,293,808
スキームD(委託販売)	311,358	-	-	-	-	-	365,821	795,341	1,960	-	-	-	1,474,480
確認済み合計	1,114,719	1,475,232	1,524,709	1,161,889	1,401,620	1,004,520	1,649,566	2,763,239	1,039,481	1,431,682	1,201,630	-	15,768,288

(1) 2020年度第3四半期の1,196,311ドルのうち、UACによって809,593.26ドルが特定され、これ以前に訂正された。

売上原価

分類	18年度				19年度				20年度				合計
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期 (2)	第4四半期	
スキームA/スキームB	470,789	935,222	1,030,316	655,145	642,408	457,659	749,733	940,518	568,704	702,495	187,823	-	7,340,813
スキームC	35,053	-	-	31,104	-	-	-	-	-	-	57,393	-	123,550
スキームE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	261,774	-	261,774
スキームF	-	-	-	2,006	132,126	164,409	-	180,361	22,247	79,571	226,864	-	807,585
	505,842	935,222	1,030,316	688,255	774,534	622,068	749,733	1,120,879	590,951	782,066	733,855	-	8,533,721
スキームD(委託販売)	141,769	-	-	-	-	-	166,750	364,866	944	-	-	-	674,328
確認済み合計	647,611	935,222	1,030,316	688,255	774,534	622,068	916,483	1,485,745	591,896	782,066	733,855	-	9,208,050

(2) 2020年度第3四半期の729,897ドルのうち、UACによって493,305.95ドルが特定され、これ以前に訂正された。

UAUの虚偽記載の要約 - 損益計算書上の影響

表7: 該当期間の総売上高の虚偽記載 (四半期別)

アカウント41000 - F/G総売上高					
四半期 終了	A 時期尚早 の記録	B 不正 売上高	C 不正売上高 の支払額	D 不正売上高 の貸方計上額	(E) = 0 - A - B - C - D + 前四半 期A 修正仕訳記入額
6/30/2018	279,000	3,299,161		(1,103,819)	(2,474,342)
9/30/2018	65,400	3,389,620		(3,061,452)	(114,568)
12/31/2018	204,000	4,597,886		(3,811,443)	(925,044)
3/31/2019	1,043,044	2,999,990		(4,853,799)	1,014,766
6/30/2019	634,626	3,409,725		(1,343,166)	(1,658,141)
9/30/2019	547,630	1,872,630		(2,729,171)	943,537
12/31/2019	495,673	3,672,652		(2,861,476)	(759,219)
合計:	3,269,373	23,241,664		(19,764,325)	(3,973,012)

1,352,294	3/31/20に終了した四半期の不正売上高
3,269,373	時期尚早に計上された売上高
23,241,664	UAU該当期間の不正売上高
27,863,332	虚偽記載であった総売上高の合計

表8: 該当期間の売上原価の虚偽記載 (四半期別)

アカウント51000 - F/G売上原価					
四半期 終了	A 時期尚早 の記録	B 不正 売上高	C 不正売上高 の支払額	D 不正売上高 の貸方計上額	(E) = 0 - A - B - C - D + 前四半 期A 修正仕訳記入額
6/30/2018	166,296.81	1,988,600		(662,954)	(1,491,944)
9/30/2018	46,725.49	1,719,994		(1,725,366)	124,943
12/31/2018	109,455.14	2,482,768		(2,089,491)	(456,007)
3/31/2019	604,763.21	1,633,271		(2,650,200)	521,621
6/30/2019	420,214.17	2,060,973		(825,170)	(1,051,254)
9/30/2019	338,365.93	1,071,613		(1,546,130)	556,365
12/31/2019	288,336.20	2,147,301		(1,619,677)	(477,595)
合計:	1,974,157	13,104,521		(11,118,987)	(2,273,870)

741,684	3/31/20に終了した四半期の不正売上原価
1,974,157	時期尚早に計上された売上原価
13,104,521	UAU該当期間の不正売上原価
15,820,362	虚偽記載であった売上原価の合計

表 9: 該当期間の売掛金残高の虚偽記載 (四半期別)

アカウント12100 - 売掛金					(E) = 0 - A - B - C - D + 前四半 期A 修正仕訳記入額
四半期 終了	A 時期尚早 の計上	B 不正 売上高	C 不正売上高 の支払額	D 不正売上高 の貸方計上額	
6/30/2018	279,000	3,299,161		(1,103,819)	(2,474,342)
9/30/2018	65,400	3,389,620		(3,061,452)	(114,568)
12/31/2018	204,000	4,597,886		(3,811,443)	(925,044)
3/31/2019	1,043,044	2,999,990		(4,853,799)	1,014,766
6/30/2019	634,626	3,409,725		(1,343,166)	(1,658,141)
9/30/2019	547,630	1,872,630		(2,729,171)	943,537
12/31/2019	495,673	3,672,652		(2,861,476)	(759,219)
合計:	3,269,373	23,241,664		(19,764,325)	(3,973,012)

表 10: 該当期間の完成品棚卸資産残高の虚偽記載 (四半期別)

アカウント14000 - 完成品棚卸資産					(E) = 0 - A - B - C - D + 前四半 期A 修正仕訳記入額
四半期 終了	A 時期尚早 の計上	B 不正 売上高	C 不正売上高 の支払額	D 不正売上高 の貸方計上額	
6/30/2018	(166,297)	(1,988,600)		662,954	1,491,944
9/30/2018	(46,725)	(1,719,994)		1,725,366	(124,943)
12/31/2018	(109,455)	(2,482,768)		2,089,491	456,007
3/31/2019	(604,763)	(1,633,271)		2,650,200	(521,621)
6/30/2019	(420,214)	(2,060,973)		825,170	1,051,254
9/30/2019	(338,366)	(1,071,613)		1,546,130	(556,365)
12/31/2019	(288,336)	(2,147,301)		1,619,677	477,595
合計:	(1,974,157)	(13,104,521)		11,118,987	2,273,870

表 11～表13: UAU の調査結果の要約 (四半期別)

総合して、該当期間中の UAU の財務諸表に影響を及ぼす総売上高は 2,780 万豪ドル (1,770 万米ドル)、同じく売上原価は 1,580 万豪ドル (1,010 万米ドル) となることが特定された。さらに、140 万豪ドルが帳簿及び記録に記帳されていなかったことも確認された。

表 11: 売上高 (単位: 豪ドル)

	6/30/2018	9/30/2018	12/31/2018	3/31/2019	6/30/2019	9/30/2019	12/31/2019	3/31/2020	合計
UAUによる開示									
不正売上高	3,225,761	3,389,620	4,597,886	2,999,990	3,409,725	1,795,260	3,648,285	1,352,294	24,418,821
売上高の貸方計上額	<u>(1,103,819)</u>	<u>(3,061,452)</u>	<u>(3,738,043)</u>	<u>(4,853,799)</u>	<u>(1,343,166)</u>	<u>(2,729,171)</u>	<u>(2,784,105)</u>	<u>(4,805,169)</u>	<u>(24,418,724)</u>
純額	2,121,942	328,168	859,844	(1,853,810)	2,066,559	(933,911)	864,180	(3,452,875)	97
BTによる特定 [1]									
不正売上高	73,400	0	0	0	0	77,371	24,367	0	175,137
売上高の貸方計上額	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>(73,400)</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>(77,371)</u>	<u>(24,367)</u>	<u>(175,137)</u>
純額	73,400	0	(73,400)	0	0	77,371	(53,004)	(24,367)	0
時期尚早の記録 [2]	279,000	65,400	204,000	1,043,044	[3] 634,626	547,630	249,343	0	3,023,043
返品が遅延記録 [4]	0	0	0	0	0	0	0	(246,330)	(246,330)

UAU が開示した虚偽記載であった総売上高の合計: 24,418,821

BT が特定した虚偽記載であった総売上高の合計: 3,444,511

虚偽記載であった総売上高の合計: 27,863,332

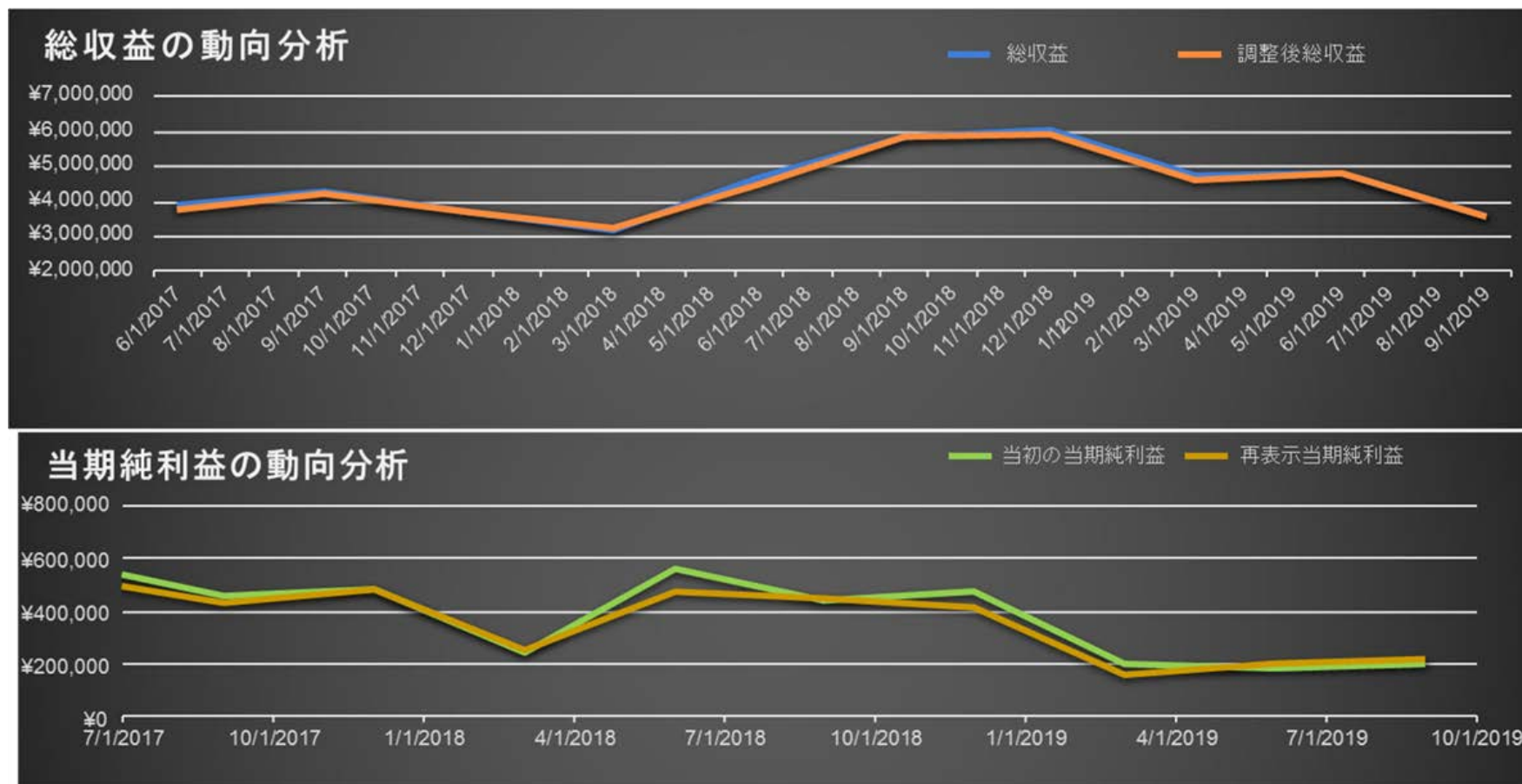
- 1) BT (Baker Tilly) は、UAU によって 2,440 万ドルが開示された後、この追加の不正売上高を特定した。
- 2) E メール の 審査 及 び 配 送 完 了 証 明 (POD) データの分析に基づき、販売取引は期間末に先立ち記録されたが期間末後に顧客に納品されたことが特定された。したがって、ここに示される金額は次の期間に記録されるべきであった。
- 3) 2019 年 3 月 31 日時点で、UAU は、2019 年 3 月に記録されたが 2019 年 4 月に納品された売上高を修正するために 511,237 ドルの修正

仕訳記入を行った、と理解される。したがって、BT は、これを考慮に入れ、2019 年 3 月に記録されたが 2019 年 4 月に納品された追加販売取引を 1,043,044 ドルと修正する。

- 4) 項目「返品の遅延記録」(スキーム G) は、2019 年 12 月に受け取った実際の製品の返品額 271,000 ドルに関するものであるが、UAU は、返品の貸方計上を 2019 年 12 月から 2020 年 2 月までの 3 ヶ月間にわたり分散させた。したがって、貸方計上額 246,330 ドルは 2019 年 12 月 31 日に終了した四半期に加えられるべきであった。

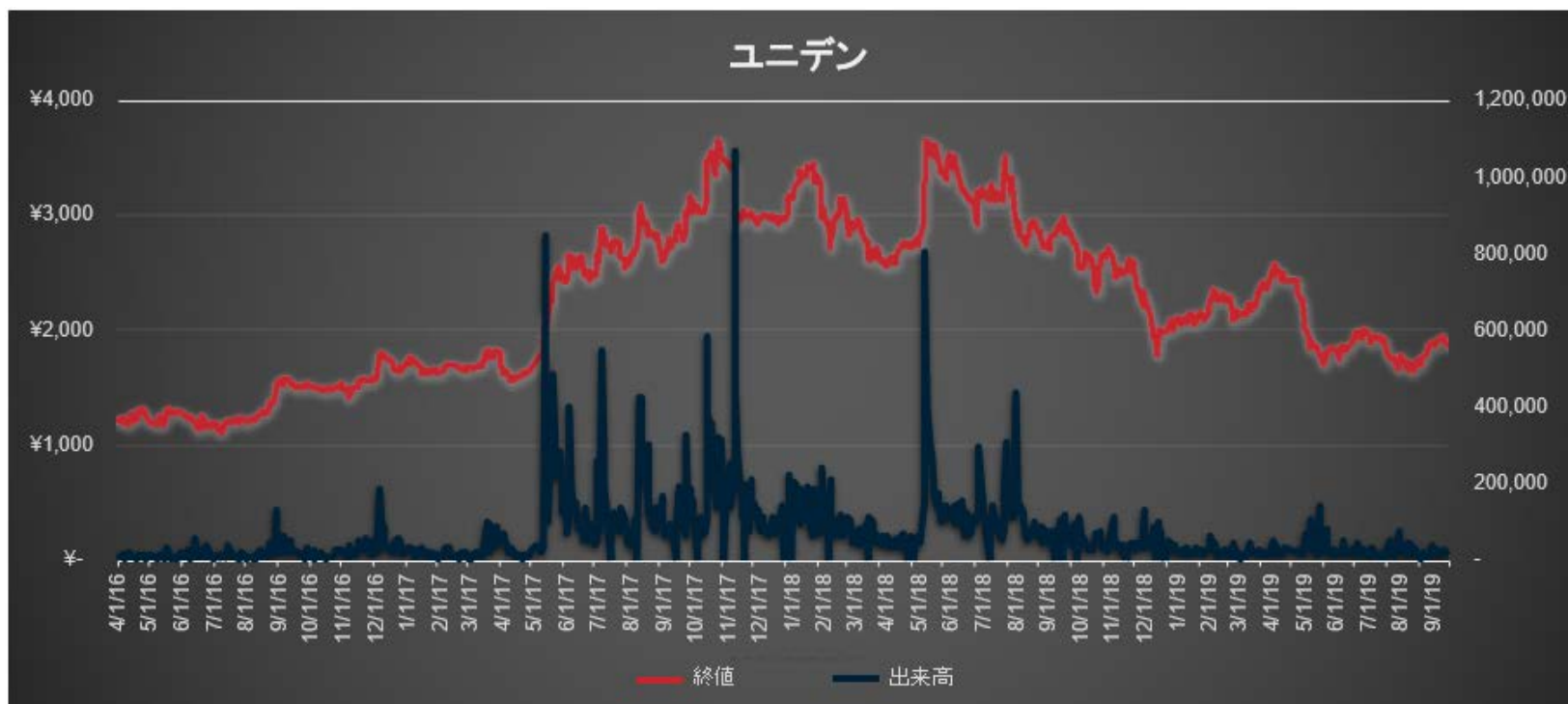
虚偽記載の概要

ユニデンの経営陣の表明によれば、2017年6月30日から2019年12月31日までの各四半期及び各年度末に獲得されなかった収益について、不適正に／本来よりも早く収益を認識したことが特定された虚偽記載を反映させるため、訂正され、適切に開示される予定であるとのことである。虚偽記載は総収益又は純利益の傾向を隠ぺいするものではない。



ユニデンホールディングス株式会社（「UHC」）の株価の概要

我々は、このグラフを、UHC の株価が 2017 年 6 月頃に上昇し始め、その後 2018 年 5 月頃に急落したことを示すために提示する。我々は、UAC のプレジデントが 2017 年 6 月頃に就任し、我々に対して売上を伸ばすことが一番の目的であると語ったことを指摘したい。さらに、いくつかのインタビューでの発言から、UHC の幹部が 2018 年 4 月頃及び 2019 年 6 月頃の販売目標を達成するために、価値観の欠如した環境に対して更なる圧力を加えたことが判明した。



虚偽記載の概要（続）

ユニデンは、虚偽記載が定量的及び定性的の双方において重要かを考慮した。定量的には、経営陣は、下記の更なる分析の基準として、財務諸表の項目に5%の影響が及んだか否かの「経験則」を適用した。

エラーはキャッシュには影響を与えない。エントリーの内容は、純利益（損失）をキャッシュフロー計算書内の営業活動の項目で使用されるネットキャッシュと訂正するための個別訂正には影響を及ぼすものの、エラーは営業活動において使用されるネットキャッシュに対して何の影響も及ぼさない。

ユニデンは、貸借対照表及び損益計算書で影響を受けた項目に対して、期間外訂正を個別に評価した。

影響 (%)	6/30/2017	9/30/2017	12/31/2017	3/31/2018	6/30/2018	9/30/2018	12/31/2018	3/31/2019	6/30/2019	9/30/2019
売掛金	N/A	N/A	N/A	133%	-6.45%	0.96%	-3.70%	-2.12%	0.34%	1.33%
在庫	1.16%	0.76%	0.15%	-0.46%	1.68%	-0.40%	1.15%	0.40%	0.05%	-0.26%
総売上高	-3.19%	-1.78%	-0.15%	1.20%	-4.74%	0.61%	-2.36%	-1.78%	0.26%	1.21%
売上原価	-3.02%	-1.76%	-0.49%	1.93%	-4.51%	0.66%	-1.61%	-1.26%	-0.17%	1.18%
当期純利益	-9.05%	-5.52%	1.47%	1.78%	-15.72%	1.96%	-15.65%	-20.07%	9.51%	7.79%

免責条項

実施された手順は、本文書中に説明される手順に限定されます。当方の調査結果、検証、推奨は、誰が、いつ、どこで、何を、なぜ、どのように被疑又は既知の不正行為を行ったかについて、本文書の日付までに文書証拠と供述証拠の両方から引き出された事実情報に基づきます。本報告書の日付の後に取得された情報は当方の分析に影響を及ぼす可能性があり、またかかる影響は重要又は重大となる可能性があります。要請がある場合には、当方は、分析及び報告書を更新し、それに準じた報酬を受領するものとします。

本調査は、一般に公正妥当と認められる監査基準（「GAAS」）に従う監査、審査、若しくはコンピレーションであるとみなされることを意図せず、そのようにみなされるべきではありません。米国公認会計士協会（The American Institute of Certified Public Accountants、「AICPA」）は、「独立監査人による財務諸表の通常監査の目標は、財務諸表が一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠して財務状況、業績、及びキャッシュフローをすべての重要な点について提示する公正性についての、意見の表明である」と定義しています。

本調査は、一般に公正妥当と認められる会計原則（「GAAP」）に準拠して実施される監査とは異なり、特定の容疑を分析するために実施されたものです。したがって、当方は、いずれの特定取引、又はいずれの人物の有罪又は無罪に関しても、いかなる判断も行いません。かかる判断は司法制度のみにより判断されます。

財務諸表及びそれに関連する開示は、Baker Tilly LLP 又は Volkov の責任ではなく、ユニデンの責任とされます。

7. 付属書類

1. 作業計画の状況

A 当初の理解と調整		状況
1	会社(ユニデン、以下同様)の経営陣との当初の会議に出席し、問題及び利用可能なデータソースについて理解する	完了
2	会社のシステムを訴訟ホールドの対象とするよう会社に助言する	完了
3	会社のデータストレージとバックアッププロセスを理解する	完了
4	会社に対する暫定的文書要請リストを作成する	完了
5	容疑についての理解を深めるために、会社経営陣により準備された文書及び分析を審査する	完了
6	BDO からのインプットを得て、プロジェクトの範囲と作業計画を協議する	完了
7	定期的な進捗状況連絡通話と更新のタイミングを設定する	完了
8	会社の四半期財務諸表と年次財務諸表並びに関連する方針及び手続を審査する	完了
9	現役従業員の面談に関する計画を開発する	完了

B データ収集及び電子的に保存された情報の審査		状況
1	容疑についての当初の理解に基づき、電子データ(プレジデントの E メール及びノートパソコンのデータを含む)を収集する	完了
2	会社経営陣との協議に基づき、カストディアン 8 名の E メールデータを収集し、処理する必要がある場合は、追加の収集及び処理を実行する	完了
3	該当する検索用語のリストを作成し、それを会社経営陣と検討し、それを必要に応じて更なる修正を行うために BDO と共有する	完了
4	収集したデータのキーワード/フレーズ検索を実行する	完了
5	キーワード又はフレーズにヒットした E メール及びその他の電子文書の量と質を審査する それを受けてキーワードを必要に応じて更新する	完了

6	特定された文書の審査に関する計画を開発する	完了
7	合意済みの計画に従い文書を審査し、その結果/観察を他の調査手順(すなわち、面談又は財務分析)に組み込む	完了

C 面談(情報収集面談及び/又は調査面談)		状況
1	行動規範及び/又は従業員ハンドブックを審査する	完了
2	その他の人事データ(雇用契約及び賞与に関する情報を含む)を審査する	完了
3	主要プロセス及び被疑活動に関与した個人に基づき、当初の面談リストを開発する	完了
4	倉庫及び/又は流通センターの個人を含め、会社の関連性ある個人の面談を実行する	完了
5	必要に応じて面談の要約を作成する	完了
6	文書審査と財務分析に基づき、フォローアップ面談及び問い合わせを実行する	完了

D. 財務分析		状況
1	OTC(受注から入金まで)、販売プロセス、収益認識に関連する方針、手続、プロセス・ワークフローを審査する	完了
2	会社により特定された、偽造の可能性のある出荷記録、販売注文記録、支払期間延長契約、請求済未出荷スキームの例を分析する	完了
3	売上高/収益の勘定に関連する潜在的な異常又はパターンを特定するために、財務諸表及び試算表データを分析する	完了
4	特定の顧客、製品、その他に関連する潜在的な異常又はパターンを特定するために、売上高予測及び実際の売上高に関連する報告書又は文書を分析する	完了
5	AS400 から抽出された詳細にわたる取引データ(発注書データ、出荷データ、顧客販売データ、売掛金データ、顧客支払データ、及び収益認識を含むがそれらに限定されない)を分析する	完了
6	取引のサンプルを特定し、当該取引の有効性と財務諸表への根本的影響を評価するために裏付文書証拠(もしあれば)を要請し、必要となればサンプルを拡大する	完了

7	第三者運送会社のデータを異常な活動の有無について分析し、必要であれば、通常の事業過程で平素利用されていない運送会社について追加手順を実行する	完了
8	必要であれば、監察を追加の文書審査手順に組み込む	完了
9	要請があり次第、又は必要とみなされる場合、追加の分析及び手順を実行する	完了

2. データ収集 (UAC)

電子的に保存された情報は、次のソース、すなわちEメール、Microsoft One Drive、UACの当初の共有ドライブ、ノートパソコンのデータから収集された。

文書群の合計数 - 140 万部

カストディアン	Eメールデータ	UAC 共有ドライブ	MS ONEDRIVE	合計文書数
[1]		0GB	1.9GB	185,413
	10.34GB	11.7GB	0.000019GB	100,033
	9.58GB	0GB	0GB	51,993
	4.00GB	10.9GB	0.00323GB	51,146
	3.19GB	816MB	5.29GB	44,702
	3.099GB	0Bytes	0.00104GB	23,379
	13.46GB	4.20GB	0.695GB	170,173
	8.55GB	20.5GB	0.0028GB	116,343
	17.3GB	0GB	0GB	83,215
	65.9GB	0GB	0GB	377,658
[2]	29.3GB	0GB	0GB	124,471
	11GB	0GB	0GB	6,673

	2GB	0GB	0GB	1,038
--	-----	-----	-----	-------

- 1) [REDACTED] のノートパソコンの 78GB のデータも収集された。
- 2) [REDACTED] のノートパソコンの 92GB のデータも収集された（同氏の E メールデータの大半が 0365 サーバーでは入手可能でなかったため）。Baker Tilly は、同氏のノートパソコンから 29.3GB の PST データ（すなわち、E メールデータ）を抽出、処理した。

2017 年 6 月 30 日終了期から 2019 年 12 月 31 日終了期までの期間に関する以下の紙面文書

- ・ 2019 年 12 月終了期の最終 10 日間、2019 年 9 月、2019 年 6 月、2019 年 3 月、2018 年 12 月、2018 年 9 月、2018 年 6 月、2018 年 3 月、2017 年 12 月、2017 年 9 月の各終了期の最終 5 日間の請求書、船荷証券、発注書、その他
- ・ 2017 年 7 月から 2019 年 12 月までの再経過の要請及びその承認に関する文書証拠
- ・ 顧客アカウントに適用されたクレジットメモ（貸記伝票）に関する文書証拠

Baker Tilly の監督及び指示を受けて会社によって AS400 から抽出された、2017 年 6 月 30 日終了期から 2019 年 12 月 31 日終了期までの期間に関する以下のデータ

- ・ 試算表、出荷/請求書、発注書、マニフェスト（積荷目録）、クレジットメモ（貸記伝票）、AP 貨物運送料、売掛金

UAC から受け取り考慮した以下の他のデータ

- ・ 売上高、予測、目標に関するデータ
- ・ 賞与に関するデータ
- ・ 顧客の約定及び契約
- ・ 四半期の収益認識テストファイル
- ・ 内部で作成された四半期財務諸表
- ・ 選抜した第三者から提供された貨物運送ログ

2. データ収集 (UAU)

電子的に保存された情報は、次のソース、すなわち Gmail 及び Google Documents から収集された。

文書群の合計数 — 1,064,000 部

カストディアン	Eメールデータ	UAC 共有ドライブ	MS ONEDRIVE	合計文書数
	11.4GB	N/A	975.1MB	27,552
	41.4GB	N/A	975.1MB	110,956
	40.1GB	N/A	124.1MB	204,886
	25.0GB	N/A	5.37【訳注: ママ】	411,663
	40.9GB	N/A	N/A	308,968

UAU から受け取り考慮したデータ

- ・ UAU 該当期間の売上高及び貸方勘定のデータ
- ・ UAU 該当期間の未記帳 APV の掲載リスト
- ・ UAU 該当期間の売掛金の詳細
- ・ UAU 該当期間の四半期の売掛金経過記録ファイル
- ・ UAU 該当期間の試算表及びユニデンジャパンに送付された四半期財務パッケージ
- ・ 四半期及び年度末の配送完了証明 (POD) テストファイル
- ・ 請求書に関する選抜した発注書 (PO) 及び配送完了証明 (POD) の文書証拠
- ・ UAU 該当期間の目標及びコミッションの計算

3. 面談対象者及び面談日 (UAC)

- ・ [REDACTED]、プレジデント/CSO：2020年2月3日
- ・ [REDACTED]、注文入力担当事務員：2020年2月13日
- ・ [REDACTED]、出荷コーディネーター：2020年2月13日
- ・ [REDACTED]、上級会計事務員：2020年2月18日
- ・ [REDACTED]、販売管理/サポート・マネージャー：2020年2月18日
- ・ [REDACTED]、物流・通商コンプライアンス・マネージャー：2020年2月18日
- ・ [REDACTED]、営業マネージャー：2020年2月18日
- ・ [REDACTED]、営業部門ディレクター：2020年2月19日
- ・ [REDACTED]、西部営業部門ディレクター：2020年2月19日
- ・ [REDACTED]、流通販売マネージャー：2020年2月20日
- ・ [REDACTED]、中西部営業部門ディレクター：2020年2月26日
- ・ [REDACTED]、最高業務責任者 (COO)：2020年3月5日
- ・ [REDACTED]、総務担当 VP、コントローラー：2020年4月2日及び3日

3. 面談対象者及び面談日 (UAU)

- ・ [REDACTED]、マネージングディレクター：2020年4月13日
- ・ [REDACTED]、全国営業マネージャー：2020年4月13日
- ・ [REDACTED]、ファイナンシャルコントローラー（経理財務部長）：2020年4月11日
- ・ [REDACTED]、全国営業マネージャー：2020年4月14日
- ・ [REDACTED]、財務部マネージャー：2020年4月14日

4. 文書審査 (UAC)

- ・ UAC と BDO と共に適合したキーワードと検索用語のリストを作成した。
- ・ 当方のフォレンジック・テクノロジー・ツールを用いて 120 以上のキーワードを電子データに適用し、290,000 超の文書でキーワードのヒットが組成された。関連性に基づき、270,000 のうち約 198,000 の文書を審査した。
- ・ キーワード検索に加えて、請求書データを分析するなかで、特定の注文、顧客、及び/又は運送業者について追加のアドホック検索を実行した。
- ・ スキームにおいて [REDACTED] 【訳注：UAC のプレジデント】が果たした重要な役割を理由とし、期間中の同氏とユニデンジャパン（「co.jp」）の間のコミュニケーションが関与する約 1,100 通の E メールを審査した。

4. 文書審査 (UAU)

- ・ 当初の 120 以上に加えて 30 の追加キーワードのリストを作成した。
- ・ 当方のフォレンジック・テクノロジー・ツールを用いてこれら 150 以上のキーワードを電子データに適用した。UAU のカストディアンからの合計 1,000,000 の文書のうち、関連性に基づき約 90,000 の文書を審査した。
- ・ 特定の注文、顧客、従業員に関する追加のアドホック検索、及び特定の財務に関する文書及び情報の検索を実行した。

5. 財務審査 (UAC)

- ・ 会社から提出された紙面での財務文書を審査し、また審査用に更なる文書を追加選択した。ドキュメントパケットには一般的に、顧客の請求書、船荷証券、配送完了証明（入手可能な場合）、マニフェスト（積荷目録）データ、発注書、及び入手可能なその他の文書が含まれた。
- ・ AS400 データ、第三者貨物運送料データ、Eメール、及び会社から提供された追加情報を分析した。
- ・ 販売注文文書パケット及び本調査の過程で収集した追加データの手作業での審査と合わせて、データアナリティクスの結果を考慮した。

出荷、発注書、AP 運送料、第三者貨物運送ログ、クレジットメモ（貸記伝票）のデータを統合し分析することにより、分析、面談、Eメール審査の最中に特定したデータに、データアナリティクス及びレッドフラッグ・テストを適用した。レッドフラッグ・テストの対象には以下が含まれる。

- ・ PO と出荷データの間の出荷条件の相違
- ・ 「集金」として特定されているものの、運送料が UAC によって直接支払われた注文
- ・ 「集金」として特定されているものの、運送料が UAC により払い戻された注文
- ・ 四半期末に運送料の条件を「前払い」から「集金」に変更した顧客

上記のデータアナリティクス及びレッドフラッグ・テストの結果を、Eメールデータの検索並びにクレジットメモ（貸記伝票）又は POD（配送完了証明）などの文書証拠（入手可能であれば）の審査によって、サンプリングした。

カバレッジ

顧客	合計 カウント	合計請求書金額	テスト対象 カウント	サンプル% (カウント中)	テスト対象 請求書金額	サンプル% (請求書金額中)
██████████	212	\$ 469,294	58	27%	\$ 110,354	24%
██████████████████	138	1,649,342	57	41%	748,951	45%
██████████████	11	14,387	5	45%	12,066	84%
██████████████	78	1,322,908	41	53%	778,928	59%
██████████████████	1	15,198	1	100%	15,198	100%
██████████████	11	1,028,672	2	10%	128,433	12%
██████████████	1	122,500	1	100%	122,500	100%
██████████████	54	420,967	25	46%	168,832	40%
██████████	11	103,930	5	45%	46,600	45%
██████████████	213	1,487,837	55	26%	294,472	20%
██████████████	2	82,800	2	100%	82,800	100%
██████████████████	14	31,306	14	100%	31,306	100%
██████████████	1	9,763	1	100%	9,763	100%
██████████████	16	166,060	13	81%	52,446	32%
██████████████████	1	113,992	1	100%	113,992	100%
██████████████	6	118,472	6	100%	118,472	100%
██████████████	1	122,410	3	100%	122,410	100%
合計	773	\$ 7,239,838	290	38%	\$ 2,957,522	41%

5. 財務審査 (UAU)

- ・ 売上高と貸方勘定のデータの動向又は異常について分析し、UAU の経営陣によって開示された売上高と貸方勘定の選抜リストを比較した。
- ・ 更なるテストのために選抜する販売と貸方計上の取引を特定し、収益又は貸方計上額の認識の有効性を評価するために裏付文書証拠（発注書、配送完了証明、その他）を要請し、それらを審査した。
- ・ 売掛金の経過記録の詳細を分析し、UAU 該当期間に各請求書が再経過された実例数を判断した。
- ・ 顧客契約、従業員契約、四半期コミッションを含む、他の入手可能な文書記録及び計算を審査した。
- ・ 選抜した E メール通信を、特定の販売取引及び貸方計上まで遡及追跡した。
- ・ 第三者の POD（配送完了証明）データを分析した。
- ・ マネージングディレクターとファイナンシャルコントローラー（経理財務部長）により、スキーム及び取引を確証した。
- ・ MS Excel ファイルで作成された UAU からのメタデータを審査した。

6. 財務報告に対する内部統制 (UAC) - J-S0x

手順:

- ・ 見積りから入金までのプロセス（売上高を含む）に関連してユニデンジャパンにより作成された UAC のリスク及び統制のマトリクスを独自に審査し、統制が 2014 年以降更新されていなかったことを検証した。
- ・ 現行の内部統制を理解するために、UAC の多種多様の従業員（ 【訳注：総務担当 VP、コントローラー】、 【訳注：販売管理/サポート・マネージャー】、 【訳注：注文入力担当事務員】、 【訳注：物流・通商コンプライアンス・マネージャー】、 【訳注：上級会計事務員】、 、 【訳注：出荷コーディネーター】、 を含む）と共にプロセス・レビューを実施した。
- ・ 【訳注：倉庫業者】の倉庫を訪問し、見学して回り、UAC の従業員と 【訳注：倉庫業者】の従業員による注文処理プロセスを観察した。

主要調査結果:

- ・ UAC と顧客の間のマスターサービス契約は、存在しないか、更新されていないかのいずれかである。

- ・ 見積りから入金までのサイクルに関連する正式な方針及び手続が欠如している。
- ・ カリフォルニア州カーソンの倉庫では、製品が仕向港に到着し数えられる前に、在庫が ERP システムに不正に荷受けされた。
- ・ 倉庫の荷受人は大量入力された船荷証券文書を付与されるため、個別のカウン트가損なわれている。
- ・ 小包注文の売上高は、受注品が運送会社により引き取られた時点ではなく、出荷が準備された時点でクロージングされている。
- ・ コントローラーが集金の懸念から受注を抑えることを推奨したが、前プレジデント（売上高に直接の監督権を有した）はこの推奨を却下した。
- ・ 発注書の支払条件が、標準条件を包含する顧客のマスターアカウントの条件と異なる際に、承認が必要とされていない。
- ・ 発注書の出荷条件が、標準条件を包含する顧客のマスターアカウントの条件と異なる際に、承認が必要とされていない。
- ・ 請求書は作成後に、支払条件、出荷条件、顧客の連絡先情報の変更を含め、修正可能とされている。
- ・ 請求書条件は、顧客との E メール通信又は営業チームからの指令に基づき、AS400 内で修正可能とされている。

6. 財務報告に対する内部統制（UAU） - J-S0x

主要調査結果：

- ・ 注文をクロージングし、収益を BAAN（UAU の ERP システム）に入力する際に、経理財務部によって発注書が必要とされていない。
- ・ 支払条件が顧客の発注書に一貫して文書記録されていない。
- ・ 顧客の販売請求書の再経過には、裏付文書証拠（例えば、支払期日延長書式）又は承認が存在せず、したがってそれらが必要とされていない。
- ・ 与信限度を超過し多額の延滞債権残高を抱える顧客の注文が処理されている。
- ・ 注文をクロージングし、収益を帳簿及び記録に記帳する際に、配送完了証明（「POD」）情報が必要とされていない。
- ・ UAU における四半期売上高カットオフ・テストでは、受注品に関する実際の配送完了証明（「POD」）情報ではなく、見積納期を用いている。見積納期の利用は、四半期財務実績の虚偽記載を招き得る。（注記：UAU は、年度の売上高カットオフ・テストを実行する際には、年度末時点の実際の配送完了証明（「POD」）情報を利用している。）
- ・ A ストック（損傷のない製品）の返品における顧客への貸方計上の処理には、

裏付文書証拠（例えば、返品承認書式）又は承認が存在せず、したがってそれらが必要とされていない。

- ・ 以前に販売された損傷のない製品の返品については、顧客が UAU から他の在庫品を購入することに合意するという交換条件により、時には 10 カ月以上後になっても貸方計上が許可されている。
- ・ UAU により APV と称されているマーケティング/販促費用は、それが生じた期間に帳簿及び記録に記帳されていない。

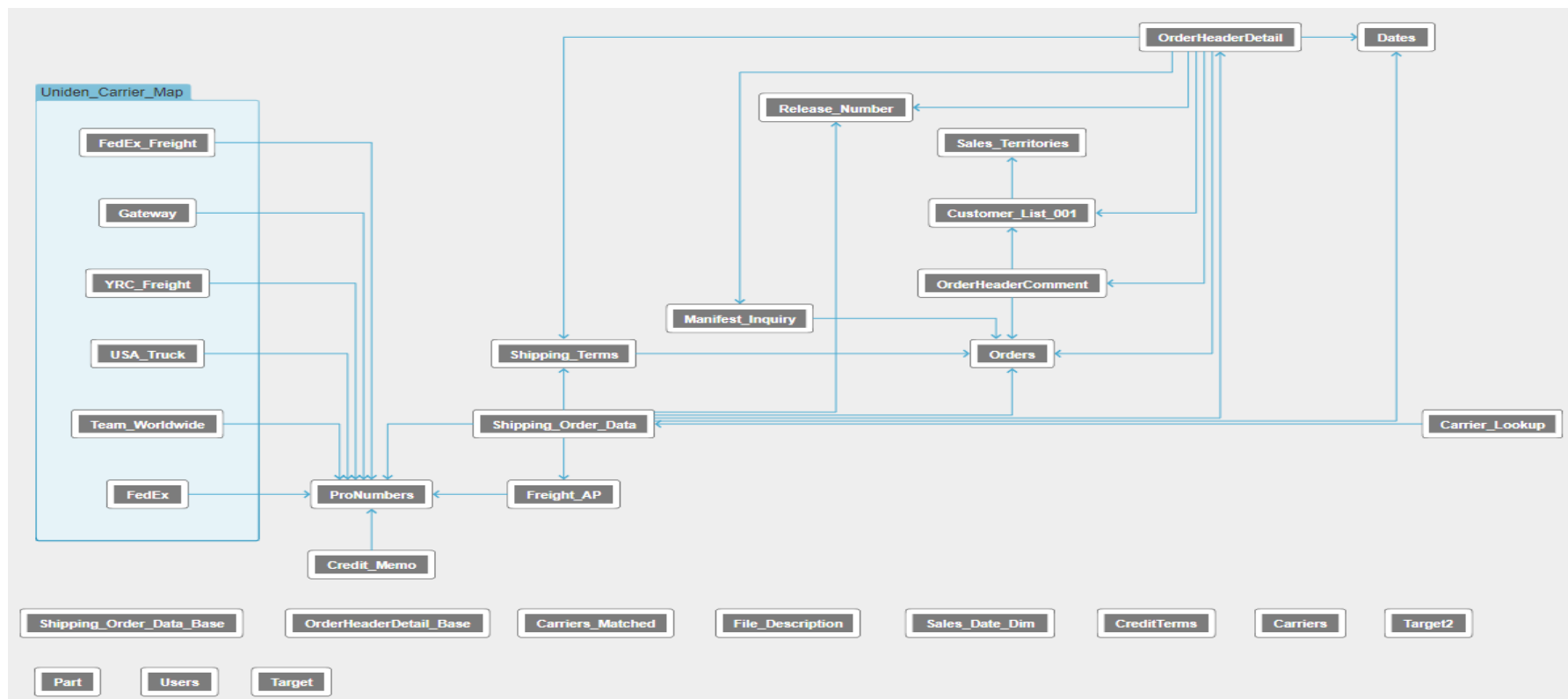
7. データアナリティクス (UAC)

Baker Tilly は、「調査データアナリティクス・プラットフォーム」を開発し、それを維持するために、以下のステップを実行した。

- ・ UAC により、該当期間についてシステムから生成されたデータと複数ソースからの他の情報が提供された。それには以下が含まれた。
 - ・ UAC の AS400 会計ソフトウェア：
 - ・ 請求書/出荷データ
 - ・ 発注書データ
 - ・ 買掛金運送料データ
 - ・ クレジットメモ（貸記伝票）データ
 - ・ データのルックアップの値とディクショナリ
 - ・ 第三者運送業者のログ
 - ・ 四半期収益認識テスト・ファイル
- ・ 支払期日延長要請のログ
- ・ Baker Tilly は、上記のデータセットを調査データアナリティクス・プラットフォームに取り込み、更なる分析のためにデータ統合に必要なジョインを設定した（スキーム・ダイアグラムを参照のこと）。
- ・ Baker Tilly は次に、手作業での審査手順の最中に特定した調査レッドフラッグに見合う販売取引を分析し、調査データアナリティクス・プラットフォームにアップロードされた統合データにクエリを適用した（レッドフラッグ・クエリを参照のこと）。
- ・ クエリの各々を適用した後、調査データアナリティクス・プラットフォームから、販売取引の詳細を記載した報告書と、他の関連データソースから取引の特定レッドフラッグ規準未達理由を示す関連フィールドを、出力した。Baker Tilly はそのうえで、各クエリの結果を確認した。
- ・ Baker Tilly は、各クエリが定められた規準を満たす販売取引を正確に特定したことを確認した後に、以下を含む適切な紙面での文書証拠の審査により、販売取引をサンプリングした。

- ・ 顧客の発注書
- ・ 署名入りの船荷証券
- ・ 税関書類
- ・ 運送会社の配送完了証明（「POD」）
- ・ 業者の運送料インボイス
- ・ クレジットメモ（貸記伝票）の文書証拠
- ・ 上記の文書証拠が入手可能でない場合、又は上記の文書証拠からテストを
確認又はクリアできる適切な情報が提供されなかった場合には、Baker
Tillyは、サンプリングした販売取引の有効性を評価するために、文書審査
プラットフォームで焦点を絞った検索を実行した。

スキーム・ダイアグラム



フラッグ	操作カテゴリー	説明	論理
#1	出荷条件	請求書と発注書データの間で出荷条件が一致しない	ShippingOrderData_20200213_v2.FEIGHTTERMSが Orderdata.ShipTermsと等しくない
#2	支払条件	請求書と発注書データの間で出荷条件が一致しない	ShippingOrderData_20200213_v2.PaymentTermsが Orderdata.PaymentTermsと等しくない
#3	支払条件	支払期日延長要請が販売注文1件につき少なくとも1回なされている	ShippingOrderData_20200213_v2.DocNumが PaymentExtension.DocNumと等しい
#4a	支払条件	データが「集金」を示す実例	ShippingOrderData_20200213_v2.PaymentTermsが “CL”と等しい
#4b	出荷条件	データが「集金」を示し、かつユニデンによって支払われている実例	ShippingOrderData_20200213_v2.ProNumberが FreightAPData.ProNumber PLUS “E1”と等しい

フラッグ	操作カテゴリー	説明	論理
#5a	出荷条件	月末の最終7日間に顧客が顧客1件につき前払いと集金のミックス注文を有する実例	ShippingOrderData_20200213_v2.FEIGHTTERMSと “PD” PrePaid が等しく、かつ月末の最終7日間より前
#5b	出荷条件	このテストは、出荷注文の詳細レベルではなく、顧客レベルである。すなわち、月末の最終7日間に顧客1件につき前払いと集金のミックス注文がある実例	ShippingOrderData_20200213_v2.FEIGHTTERMSと “CL” Collect が等しく、かつ月末の最終7日間以内
#5c	出荷条件	G1とG2の有効性チェック	G1とG2が等しくない
#6a	クレジットメモ	特定の販売注文 (Pro番号) に関連すると見受けられるクレジットメモ (運送料) がある実例	ShippingOrderData_20200213_v2.ProNumberと CreditMemoData.CustomerPONum が等しい
#6b	クレジットメモ	特定の販売注文 (PO番号) に関連すると見受けられるクレジットメモ (運送料) がある実例	ShippingOrderData_20200213_v2.CustPOと CreditMemoData.CustomerPONum が等しい

8. 文書カウント（キーワード別及びカスタディアン別） - UAC

文書審査プロセスで用いたキーワード

adjust w/3 order	did "not" receive	journal entry	payment terms	take care of	sweeten	詐欺 (fraud)	or else	require w/5 japan
ar aging or (a)"/r aging)	did "not" ship	KMPH w/5 pay	Products Plus	told me "to"	pay* w/3 extend*	■■■■.net	Team Worldwide	require w/5 UJ
not allow*	disclose	Lesco w/5 pay	pump up	trouble	favor	■■■■ w/5 order	local move	push w/5 japan
alter w/3 date	disguise	make it happen	questionable	trust me	exten* w/2 term*	■■■■ w/5 push	hold w/5 until	push w/5 UJ
bill "and" hold	extend	manipulat*	quiet	unlawful	pay w/2 deadline	■■■■ w/5 want	deliver w/5 back	backdate
Can it be done	fake	meet forecast	reassess	whatever it takes	increase term*	■■■■ w/5 Ask	reset w/5 aging	back date
Canadian tire	fool	misrepresent*	record revenue	worry	overstock	誰も気付かない (no one will notice)	reset w/5 AR	back-date
caught	force	misstate	reserve	wrong	がっかりする (disappoint)	誰も知らない (no one will ever know)	reage	for audit
change it	fraud	net 60	restate	On fire	燃えている (on fire)	お願いがあるんだけど (do me a favor)	re-age	count this
circumvent	hid*	no one w/5 know	revenue recog*	Disappoint	圧力 (pressure)	上司 (boss/superior)	proforma	push out
conceal	illegal	on target	said so	hit w/3 number	目標を達成 (meet target)	申し訳ございません (でした) (sorry/I have no excuse)	pro-forma	deliver
consignment	improper w/5 order	overdue	say anything	big push	または (or else)	実現させる (make it happen)	consign* w/3 order	Reimburs* w/5 freight

文書カウント(キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン									
"not" allow*	517	448	239	206	356	180	126	24	79	254
"or" else	41	46	43	10	21	4	4	4	4	8
adjust w/3 order	23	37	16	4	3	2	2	21	3	1
alter w/3 date	0	6	12	0	0	0	1	0	0	3
ar aging or (a"/r aging)	8	7	5	4	4	4	4	4	2	6
back date	18	21	8	6	0	3	2	0	0	8
backdate	8	105	56	30	0	2	0	0	0	15
back-date	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
big push	41	1	4	23	9	19	8	4	1	89
bill "and" hold	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
Can it be done	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0
canadian tire	1818	2343	2993	2901	143	137	155	158	183	2715
caught	222	227	209	119	135	75	56	20	31	71
change it	255	453	147	118	54	31	39	9	13	185

文書カウント(キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン			
"not" allow*	1227	7	1	901
"or" else	52	0	0	58
adjust w/3 order	43	0	0	28
alter w/3 date	2	0	0	14
ar aging or (a/"r aging)	37	0	0	210
back date	131	2	0	39
backdate	64	0	0	7
back-date	10	0	0	0
big push	54	2	0	3
bill "and" hold	1	0	0	23
Can it be done	0	0	0	6
canadian tire	13826	302	33	2435
caught	399	9	0	244
change it	773	3	1	283

文書カウント (キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン									
circumvent	38	6	3	1	1	0	1	0	23	10
conceal	21	13	12	8	4	0	3	0	0	1
consign* w/3 order	16	99	382	1	0	14	0	0	0	5
consignment	165	235	1649	82	55	29	8	7	1	91
count this	46	58	892	20	6	11	0	3	2	3
cover	3178	2063	1324	1684	979	556	576	435	770	1486
delay	2559	3086	3059	1579	604	738	387	134	171	2022
deliver	2080	6417	12910	1842	1201	606	504	316	50	1175
deliver w/5 back	5	43	71	6	0	0	0	0	0	8
demand w/5 japan	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
demand w/5 UJ	0	0	0	0	7	0	0	6	0	13
did "not" receive	228	558	348	70	84	65	41	6	5	162
did "not" ship	60	284	127	121	36	5	28	19	3	8
Disappoint	16	15	54	2	0	0	5	0	0	4
disaster	70	253	49	12	24	123	14	8	3	38

文書カウント(キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン			
	██████████	██████████	██████████	██████████
circumvent	29	0	0	31
conceal	28	0	0	21
consign* w/3 order	117	0	1	42
consignment	728	0	9	374
count this	82	0	0	34
cover	6910	75	9	3812
delay	8161	63	14	3625
deliver	5409	23	10	3787
deliver w/5 back	12	3	0	3
demand w/5 japan	3	0	0	5
demand w/5 UJ	0	0	0	3
did "not" receive	416	8	0	309
did "not" ship	55	0	0	27
Disappoint	10	0	0	3
disaster	192	0	0	286

文書カウント (キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン									
Disclose	925	1438	195	123	81	369	64	22	70	503
Disguise	22	3	5	3	1	0	1	1	16	6
exten* w/2 term*	250	137	13	361	266	35	40	32	94	159
Extend	619	1231	333	451	290	231	179	186	5	197
Fake	84	18	39	57	44	15	21	12	10	15
Favor	441	445	227	281	160	42	40	8	65	117
Fool	18	12	46	9	1	0	2	0	6	3
for audit	12	2	13	2	0	0	0	0	1	19
Force	820	1675	961	193	202	225	309	39	115	828
Fraud	200	94	107	38	28	19	109	21	81	145
hid*	3550	636	920	1027	624	682	489	145	1200	2743
hit w/3 number	73	35	6	39	17	8	17	15	0	17
net	120	0	0	0	1	0	0	0	3	1
hold w/5 until	272	342	276	98	48	26	41	24	2	102
illegal	276	244	121	39	113	100	59	29	43	185

文書カウント(キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン			
	██████████	██████████	██████████	██████████
disclose	1743	29	1	3371
disguise	9	0	0	6
exten* w/2 term*	301	3	1	472
extend	1775	6	0	1962
fake	191	0	1	81
favor	871	11	0	788
fool	27	0	0	67
for audit	104	0	0	204
force	5902	54	16	3609
fraud	469	0	1	965
hid*	24980	252	34	3946
hit w/3 number	149	0	0	20
██████████.net	22	0	0	5
hold w/5 until	496	4	0	317
illegal	996	4	0	889

文書カウント (キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン								
improper w/5 order	0	0	2	0	0	2	0	0	0
inaccurate w/5 order	11	5	4	11	13	0	0	0	2
increase term*	2	0	0	3	0	0	0	0	0
Irregular	32	36	29	20	0	10	4	1	2
journal entry	23	23	6	10	7	8	4	7	2
w/5 Ask	3	0	0	0	0	0	0	0	3
w/5 order	4	2	3	0	0	0	0	0	4
w/5 push	4	0	0	0	0	0	0	0	4
w/5 want	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KMPH w/5 pay	0	1	0	1	0	0	0	0	0
Lesco w/5 pay	10	5	1	0	0	0	11	0	0
local move	0	1	40	0	0	0	0	0	0
make it happen	133	80	67	147	64	72	8	13	0
manipulat*	71	18	32	39	21	19	14	3	18
meet forecast	7	0	0	0	0	0	1	0	0

文書カウント(キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン			
	██████████	██████████	██████████	██████████
improper w/5 order	11	0	0	3
inaccurate w/5 order	4	0	0	29
increase term*	0	0	0	0
Irregular	158	0	0	151
journal entry	109	0	0	573
████ w/5 Ask	8	0	0	16
████ w/5 order	16	0	0	31
████ w/5 push	1	0	0	0
████ w/5 want	3	0	0	17
KMPH w/5 pay	0	0	0	0
Lesco w/5 pay	18	0	0	47
local move	42	0	0	5
make it happen	283	0	0	59
manipulat*	163	3	0	366
meet forecast	1	0	0	2

文書カウント (キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン									
meet target	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0
misrepresent*	79	31	29	17	18	5	8	10	31	16
misstate	0	0	24	0	0	0	0	0	0	1
move up delivery	8	12	3	8	1	0	0	0	2	3
net 60	578	5711	234	722	367	268	365	253	2	216
no one w/5 know	6	17	12	2	3	1	1	5	0	1
On fire	195	29	13	26	113	3	4	0	150	8
on target	75	20	26	26	15	8	5	3	1	26
overdue	78	49	142	28	6	13	11	12	2	104
overstate	2	0	1	1	0	0	1	0	0	1
overstock	146	105	43	125	91	38	30	14	5	33
past due	1853	1468	1870	1777	532	388	392	299	42	2024
pay w/2 deadline	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
pay* w/3 extend*	25	44	9	37	42	5	1	5	2	41
payment terms	1130	5032	654	605	635	454	268	313	9	417

文書カウント (キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン			
	██████████	██████████	██████████	██████████
meet target	17	0	0	6
misrepresent*	214	0	0	291
misstate	1	0	0	7
move up delivery	8	0	0	0
net 60	1565	4	1	427
no one w/5 know	23	0	0	28
On fire	59	0	0	42
on target	131	0	0	66
overdue	372	2	0	470
overstate	2	0	0	4
overstock	215	0	0	74
past due	5342	93	2	3667
pay w/2 deadline	1	0	0	12
pay* w/3 extend*	100	0	0	115
payment terms	2981	6	12	1271

文書カウント(キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン									
Pressure	568	213	262	243	125	166	111	20	34	284
Products Plus	1300	542	347	137	44	45	24	59	27	1046
proforma	274	1988	154	47	318	37	72	19	4	265
pro-forma	10	26	1	1	0	5	0	0	0	26
pump up	10	0	3	1	5	2	0	0	0	0
push out	25	19	32	2	7	49	1	3	0	4
push w/5 japan	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
push w/5 UJ	15	0	0	0	0	0	0	0	11	0
Questionable	50	27	11	5	22	12	10	7	1	15
Quiet	416	153	149	251	483	70	73	39	22	351
reage	28	11	1	28	0	0	3	6	1	5
re-age	25	9	1	26	0	0	3	6	0	5
reassess	3	4	5	6	1	2	0	0	0	0
record revenue	14	0	2	1	0	7	0	0	0	0
Reimburs* w/5 freight	33	457	47	76	31	10	21	20	0	1

文書カウント(キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン			
Pressure	1257	2	1	764
Products Plus	3453	106	7	1252
proforma	1086	5	48	145
pro-forma	58	1	9	12
pump up	7	0	0	10
push out	114	0	0	30
push w/5 japan	25	0	0	17
push w/5 UJ	40	0	0	4
questionable	165	0	0	151
quiet	676	28	0	570
reage	106	1	0	64
re-age	75	1	0	53
reassess	19	0	0	32
record revenue	12	0	0	1
Reimburs* w/5 freight	37	0	0	43

文書カウント (キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン									
require w/5 japan	3	0	0	0	0	0	0	0	0	17
require w/5 UJ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
reserve	902	1004	621	411	349	245	391	258	75	522
reset w/5 aging	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
reset w/5 AR	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1
restate	4	3	2	7	5	0	3	2	2	2
revenue recog*	27	39	21	8	6	11	3	5	0	26
said so	0	2	7	2	0	1	1	1	0	0
say anything	17	5	15	8	0	1	13	0	2	5
ship early	46	266	74	75	39	24	16	0	0	22
Slow moving	72	7	3	40	26	107	7	1	2	13
sweeten	14	3	0	26	3	4	3	0	3	2
take care "of"	446	727	430	205	120	84	80	46	12	246
Team Worldwide	21	166	887	24	39		2	3	1	14
told me "to"	32	81	35	22	0	3	15	3	0	2

文書カウント (キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン			
	██████████	██████████	██████████	██████████
require w/5 japan	31	0	0	17
require w/5 UJ	0	0	0	3
reserve	2633	25	2	2247
reset w/5 aging	6	0	0	0
reset w/5 AR	1	0	0	5
restate	7	0	0	30
revenue recog*	177	0	0	501
said so	5	0	0	2
say anything	54	0	0	37
ship early	57	0	0	14
Slow moving	201	0	0	80
sweeten	4	0	0	1
take care "of"	1001	1	0	492
Team Worldwide	55	0	0	219
told me "to"	90	0	0	37

文書カウント (キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン									
Trouble	615	553	982	486	467	113	224	240	86	435
trust me	94	18	53	7	0	0	9	5	0	5
Unlawful	329	740	2416	188	422	202	190	62	20	292
whatever it takes	6	5	21	0	0	2	0	0	0	7
Worry	543	173	175	171	122	96	104	29	171	240
Wrong	1003	2183	1245	453	332	296	227	68	208	576
または (or else)	151	4	0	4	0	0	3	0	59	529
上司 (boss/superior)	2	0	0	0	0	0	0	0	2	36
圧力 (pressure)	2	0	1	0	0	0	0	0	0	6
実現させる (make it happen)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
申し訳ございません (でした) (sorry/I have no excuse)	25	4	0	0	0	0	0	0	5	68
目標を達成 (achieve target)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	103
詐欺 (fraud)	9	0	0	0	0	0	0	0	9	5
誰も知らない (no one will notice)	2	0	0	0	0	0	0	0	2	

文書カウント(キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン			
	██████████	██████████	██████████	██████████
Trouble	1559	31	0	1298
trust me	241	0	0	122
Unlawful	992	16	0	1283
whatever it takes	22	0	0	44
Worry	1258	23	0	430
Wrong	3340	10	8	1734
または (or else)	1301	61	21	149
上司 (boss/superior)	136	9	0	28
圧力 (pressure)	146	0	0	4
実現させる (make it happen)	1	0	1	2
申し訳ございません (でした) (sorry/I have no excuse)	598	6	0	15
目標を達成 (achieve target)	339	0	0	0
詐欺 (fraud)	5	0	0	5
誰も知らない (no one will notice)	0	0	0	0

文書カウント (キーワード別およびカストディアン別)

	カストディアン									
キーワード										
違法 (illegal)	10	0	0	0	0	0	0	0	8	14

文書カウント (キーワード別およびカストディアン別)

	カストディアン			
キーワード				
違法 (illegal)	45	4	0	24

8. 文書カウント（キーワード別及びカスタディアン別） - UAU

UAUの文書審査プロセスで用いられた30の追加キーワード

ebay	push back
██████████	stress
Kicker	bump up
Sweetner	meet the target
Favour	push hard
Push it through	insufficient
Extend	do it now
auditor	drive it up
Hit KPI	suspicious*
Over the line	surge
Pushy	BDO
Dodgy	inflate
American Boss	Wajih Bachir
Gadget	Daily deal
Bi-Rite or Birite	██████████

文書カウント (キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン				
"not" allow*	467	81	131	56	337
"or" else	22	2	2	0	8
adjust w/3 order	58	4	8	0	11
alter w/3 date	7	0	0	0	1
American Boss	904	340	207	90	1009
ar aging or (a"/"r aging)	26	0	3	0	213
auditor	556	28	36	18	910
back date	7	2	6	0	12
backdate	0	0	0	0	11
BDO	1991	2	32	75	2410
big push	9	7	0	0	0
bill "and" hold	1	0	0	0	4
Bi-Rite or Birite	4964	1091	1404	364	4416
bump up	0	1	0	0	0

文書カウント(キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン				
Can it be done	4	0	0	0	0
canadian tire	442	3	2	72	18
caught	36	32	77	19	32
change it	257	39	84	4	100
circumvent	12	0	3	0	11
conceal	1	10	0	0	0
consign* w/3 order	260	3	240	10	170
consignment	1500	390	2065	92	2145
count this	2	1	2	0	5
cover	3564	2161	1364	490	1901
Daily deal	1	4	0	0	1
delay	4236	1046	3304	601	2789
deliver	2966	1897	58463	443	3126
deliver w/5 back	4	3	11	0	13

文書カウント(キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン				
	██████████	██████████	██████████	██████████	██████████
did "not" receive	128	13	115	72	124
Disappoint	5	3	1	0	14
disaster	188	19	125	16	101
disclose	3607	3804	12154	922	6790
disguise	0	3	7	0	2
do it now	0	1	1	0	11
Dodgy	7	14	1	1	2
ebay	297	715	5943	258	659
██████████	3956	255	122	41	580
exten* w/2 term*	139	66	21	25	262
extend	967	357	406	61	654
fake	23	14	24	7	154
favor	51	19	31	2	35
Favour	197	140	171	24	803

文書カウント(キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン				
	██████████	██████████	██████████	██████████	██████████
fool	13	2	26	0	9
for audit	69	7	10	1	78
force	2489	1147	1498	298	1922
fraud	238	164	60	4	197
Gadget	5521	1177	1009	483	3504
hid*	2653	533	385	185	867
hit w/3 number	1	7	2	0	2
hold w/5 until	91	47	86	5	62
illegal	673	209	99	13	317
inaccurate w/5 order	16	0	0	0	2
increase term*	1	0	0	0	0
inflate	5	8	4	2	1
insufficient	554	60	130	9	203
Irregular	25	4	3	8	9

文書カウント(キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン				
	██████████	██████████	██████████	██████████	██████████
journal entry	221	7	8	0	185
██████ w/5 Ask	0	0	0	1	0
██████ w/5 order	3	0	1	0	0
██████ w/5 want	1	0	0	0	0
Kicker	1	9	7	0	0
local move	0	0	19	0	0
make it happen	25	8	5	1	8
manipulat*	60	26	27	27	38
meet target	1	1	0	0	0
meet the target	2	0	0	0	0
misrepresent*	46	10	4	0	22
misstate	6	0	0	0	5
move up delivery	0	3	7	1	0
net 60	30	3	4	0	37

文書カウント (キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン				
	████████	████████	████████	████████	████████
no one w/5 know	0	3	0	0	0
On fire	49	8	5	0	106
on target	4	7	0	0	0
Over the line	8	39	45	6	21
overdue	1096	150	438	129	1533
overstock	11	9	11	1	11
████████	1048	489	310	125	65
past due	2041	44	13	70	1320
pay* w/3 extend*	12	38	11	6	98
payment terms	1851	382	19426	164	1654
Pressure	256	352	190	89	92
Products Plus	239	15	13	14	21
proforma	566	139	552	60	317
pro-forma	63	13	272	17	50

文書カウント (キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン				
	████████	████████	████████	████████	████████
push back	8	15	0	0	0
push hard	2	0	0	0	0
Push it through	0	0	0	0	3
push out	33	6	8	8	0
push w/5 UJ	6	8	5	0	1
questionable	6	17	1	0	1
quiet	129	163	129	35	88
reage	14	0	0	0	14
re-age	14	0	0	0	14
reassess	19	7	0	0	9
record revenue	1	1	0	0	0
Reimburs* w/5 freight	36	0	2	15	69
require w/5 japan	3	0	2	0	3
reserve	903	198	316	28	925

文書カウント(キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン				
	████████	████████	████████	████████	████████
restate	8	1	0	0	0
revenue recog*	175	8	12	2	125
said so	4	0	1	0	0
say anything	17	1	0	0	1
ship early	0	1	0	0	0
Slow moving	241	51	59	23	67
stress	46	133	65	8	23
surge	127	22	88	9	228
suspicious*	25	38	110	17	144
sweeten	0	11	6	0	0
take care "of"	240	57	20	1	70
Team Worldwide	16	0	0	0	51
told me "to"	21	11	6	1	27
trouble	450	297	198	54	395

文書カウント(キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン				
trust me	1	2	0	0	0
unlawful	2165	5231	10380	607	9933
Wajih Bachir	7	0	0	0	6
whatever it takes	2	1	0	0	0
worry	252	101	69	21	130
wrong	960	332	2817	114	961
または	895	0	1	15	67
上司(orelse)	15	0	0	0	0
圧力(pressure)	41	0	0	0	0
実現させる (make it happen)	7	0	0	0	0
申し訳ございません (でした) (sorry/I have no excuse)	55	0	0	0	6
目標を達成 (meet target)	125	0	0	0	0
違法(illegal)	13	0	0	0	0

文書カウント (キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン				
	██████████	██████████	██████████	██████████	██████████
did "not" ship	0	0	0	0	0
improper w/5 order	0	0	0	0	0
KMPH w/5 pay	0	0	0	0	0
Lesco w/5 pay	0	0	0	0	0
meet forecast	0	0	0	0	0
overstate	0	0	0	0	0
pump up	0	0	0	0	0
pay w/2 deadline	0	0	0	0	0
がっかりする (disappoint)	0	0	0	0	0
燃えている (on fire)	0	0	0	0	0
命をかけて (whatever it takes)	0	0	0	0	0
詐欺 (fraud)	0	0	0	0	0
██████████.net	0	0	0	0	0
██████████ w/5 push	0	0	0	0	0
誰も気付かない (no one will notice)	0	0	0	0	0

文書カウント (キーワード別およびカストディアン別)

キーワード	カストディアン				
	████████	████████	████████	████████	████████
誰も知らない (no one will ever know)	0	0	0	0	0
お願いがあるんだけど (do me a favor)	0	0	0	0	0
上司 (boss/superior)	0	0	0	0	0
reset w/5 aging	0	0	0	0	0
reset w/5 AR	0	0	0	0	0
demand w/5 japan	0	0	0	0	0
require w/5 UJ	0	0	0	0	0
push w/5 japan	0	0	0	0	0
back-date	0	0	0	0	0
pick "and" pull	0	0	0	0	0
Sweetner	0	0	0	0	0
Hit KPI	0	0	0	0	0
Pushy	0	0	0	0	0
drive it up	0	0	0	0	0